

平成 7 年度水稻作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 7 年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成 7 年 12 月 6～7 日の 2 日間、植調会館会議室において開催された。なお、適 1 試験は、平成 7 年 10 月 5 日植調会館にて開催された。これらの成果の概要を報告する。

1) 第 1 次適用性試験（適 1）成績について

平成 7 年度の適 1 試験は、北海道地域（植調北海道試験地）、東北地域（植調古川試験地）、北陸地域（植調新潟第 1 試験地）、関東地域（植調研究所）、近畿地域（植調滋賀試験地）、中国地域（植調広島試験地）、九州地域（植調佐賀試験地）の全国 7 地域で 51 薬剤（のべ 279 点）について実施した。その判定結果は、第 1 表のとおりである。

2) 第 2 次適用性試験（適 2）成績について

平成 7 年度の適 2 試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前土壌混和处理（Ⅱ－1，3 剤 17 点）、移植前後土壌処理（Ⅱ－2，11 剤 184 点）、移植後土壌処理（Ⅱ－3，18 剤 262 点）、茎葉兼土壌処理（Ⅱ－4，3 剤 31 点）、適用時期拡大（Ⅱ－5，6 剤 51 点）、特殊雑草防除（Ⅱ－6，のべ 65 剤 139 点）、湛水直播栽培用（Ⅲ－1，4 剤

30 点）、乾田直播栽培用（Ⅲ－2，4 剤 11 点）、畦畔雑草用（Ⅳ，12 剤 80 点）、耕起前雑草用（Ⅴ，5 剤 19 点）、不耕起栽培移植・播種前雑草対象（Ⅴ，6 剤 16 点）、初期一発処理剤（Ⅶ－1，27 剤 231 点）、初・中期一発処理剤（Ⅶ－2，65 剤 770 点）、長期持続型一発処理剤（Ⅶ－3－(1)，4 剤 57 点）、一年生持続型除草剤（Ⅶ－3－(2)，2 剤 30 点）、少量散布（Ⅷ，7 剤 42 点）の総のべ点数が 1,970 点であった。これら適 2 試験の判定結果は第 2 表のとおりである。

3) ジャンボ剤適用性試験成績について

平成 7 年度の適用性試験は、次のような試験区分で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前後土壌処理（Ⅱ－2，1 剤 15 点）、移植後土壌処理（Ⅱ－3，2 剤 8 点）、茎葉兼土壌処理（Ⅱ－4，1 剤 11 点）、適用時期拡大（Ⅱ－5，1 剤 12 点）、特殊雑草防除（Ⅱ－6，のべ 1 剤 4 点）、一発処理剤（Ⅶ，5 剤 56 点）、長期持続型一発処理剤（Ⅶ－3－(1)，2 剤 35 点）、一年生持続型除草剤（Ⅶ－3－(2)，1 剤 14 点）の総のべ点数が 155 点であった。これら適用性試験の判定結果は第 3 表のとおりである。

第1表 平成7年度水稻作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表

注) 判定欄の記入については, ◎;極めて有望, ○;有望, □;可能性あり, △;再検討, ×;見込みなし, を表す。

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
1	AC-014A-1kg 粒 [日本サイナミット]	AC-140:0.6 KPP-314:4.5	◎	○	○	□	○	□	□	長期持続型一発処理剤として ○(北海道~中国) △(九州) 効果, 薬害の検討
2	AC-014F-1kg 粒 [日本サイナミット]	AC-140:0.6 エス [®] ロカル [®] :15.0 フレチクロール:4.5	○	○	◎	○	○	□	△	初・中期一発処理剤として ○(北海道~関東) □(近畿~九州) 薬害の要因説明(温度との関係について)
3	AC-014M フロア [®] フル [日本サイナミット]	AC-140:1.2 MY-100(未):1.2	○	○	○	○	○	○	△	初・中期一発処理剤として ○(北海道~中国) △(九州) 効果, 薬害の検討
4	CGM-15①-1kg 粒 [ロース・フーラン油化]	フレチクロール:4.0 クロマ [®] ロップ [®] :3.0	◎	○	○	□	○	○	△	移植後土壌処理剤として ○(北海道~中国) □(九州) 効果, 薬害の検討 お刈りに対する効果の確認
5	CH-904 フロア [®] フル [永光化成]	CH-900:4.2 ヘンズルフロメチル:1.4 DEH-112:3 タイムロン:8.0	□	◎						初・中期一発処理剤として □ 薬害についての検討 お刈りへの効果確認
6	CH-904① フロア [®] フル [永光化成]	CH-900:4.2 ヘンズルフロメチル:1.0 DEH-112:3 タイムロン:8.0			○	○	○	◎	○ □	初・中期一発処理剤として □ 薬害についての検討 お刈りへの効果確認
7	DKH-951-1kg 粒 [デュポン]	既知(3種) :0.3+0.06+10	○	□						初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
8	DND-950 フロア [®] フル [デュポン]	ビ [®] リ [®] フ [®] チカル [®] :10 ヘンズルフロメチル:1.4 メフェナセト:8.0	○	○						初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
9	DND-950① フロア [®] フル [デュポン]	ビ [®] リ [®] フ [®] チカル [®] :10 ヘンズルフロメチル:1.0 メフェナセト:8.0			○	○	○	◎	○	初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
10	DPX-84ND フロア [®] フル [北興化学]	ニルクロール:4.2 DEH-112:3.6 ヘンズルフロメチル:1.4	□	○						初・中期一発処理剤として □ 製剤の検討
11	DPX-84ND① フロア [®] フル [北興化学]	ニルクロール:4.2 DEH-112:3.6 ヘンズルフロメチル:1.0			○	△	○	○	□	初・中期一発処理剤として □ 製剤の検討
12	HSA-951-1kg 粒 [ヘキスト]	HJ-9301:2.0 Hoe-404:0.12	◎	□	○	○	○	□	○	移植後土壌処理剤として ○ お刈りは再検討
13	KPP-314① フロア [®] フル [科研製薬]	KPP-314:2.9	◎	○	○	□	○	◎	□	移植前後土壌処理剤として ○ 効果, 薬害の確認

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
14	KPP-314-1kg 〔科研製薬〕	粒 KPP-314:1.5	○	○	○	□	○	○	□ △	移植前後土壌処理剤として □ 効果, 薬害の確認
15	KUH-951-1kg 〔クミアイ化学〕	粒 KUH-920:0.6 ベンスルフロメチル:0.3 アジメスルフロ(DPX-47) :0.06 メフェナセト:4.5 タムロン:4.5	○	◎						初・中期一発処理剤として ◎ 効果, 薬害の確認
16	KUH-952-1kg 〔クミアイ化学〕	粒 既知A:0.3 既知D:0.3 既知B:1.8 既知E:1.2 既知C:0.06	○	○						初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
17	KUH-956-1kg 〔クミアイ化学〕	粒 KUH-920:0.45 ベンスルフロメチル:0.51 メフェナセト:4.5 タムロン:4.5			○	○	○	◎	○	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
18	KUH-958 〔クミアイ化学〕	フロアブル KPP-314:4.0 フロモフチド:18.0	◎	○	○	○	○	◎	◎	移植前後土壌処理剤として ◎ 効果, 薬害の確認
19	MK-243D 〔三菱化学〕	フロアブル MK-243:3.0 ベンスルフロメチル:1.4	○	○						初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
20	MK-243D ^① 〔三菱化学〕	フロアブル MK-243:3.0 ベンスルフロメチル:1.0			○	□	○	○	○ □	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
21	NBA-071-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:3.0 ヒラゾスルフロエチル:0.3	○	○	○	○	◎	○	○	初・中期一発処理剤として ○ 製剤の検討
22	NBA-072-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:3.0 ベンスルフロメチル:0.3 アジメスルフロ(DPX-47) :0.06	○	○						初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
23	NBA-073-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:3.0 イマゾスルフロ:0.9 タムロン:10	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	初・中期一発処理剤として ◎ 効果, 薬害の確認
24	NBA-074-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:2.0 AC-140:0.6 タムロン:4.0	○	◎	○	○	○	○	○	初期一発処理剤として ○ 製剤の検討 効果, 薬害の確認
25	NBA-075 〔日本バイエル〕	フロアブル NBA-061:40g/1 AC-140:12g/1 タムロン:80g/1	○	○	◎	○	○	◎	○	初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
26	NBA-076a-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:2.0 ベンスルフロメチル:0.75	◎	○						初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
27	NBA-076b-1kg 〔日本バイエル〕	粒 NBA-061:2.0 ベンスルフロメチル:0.51 タムロン:4.5			○	○	○	◎	○	初期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認

No	薬剤名・剤型 〔委託者〕	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 〔今後の課題点等〕
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
28	NC-339 〔日産化学〕	顆粒水和 ピラゾスルフロンエチル:5.25 MK-243:37.5	◎	○	○	○	○	□	○	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
29	NC-367-1kg 〔日産化学〕	粒 ピラゾスルフロンエチル:0.3 既知1:15.0 既知2:6.0	○	○	○	○	◎	○	○	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
30	NC-368-1kg 〔日産化学〕	粒 ピラゾスルフロンエチル:0.3 エスプロカルブ:21.0 KPP-314:2.0	△	□	□	□	○	○	○	初・中期一発処理剤として △(北海道) □(東北～北陸) ○(関東～九州) 薬害の再検討
31	NSK-850 〔トクヤマ〕	フロアブル テニクロール:4.0	□	□	○	□	○	○	□	移植前後土壌処理剤として □ 効果, 薬害の検討
32	NSK-858① 〔トクヤマ〕	フロアブル テニクロール:4.0 ピリフチカルブ:10.0 ペンシルフロノメチル:1.0			○	○	○	○	○ □	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
33	NSK-859 〔トクヤマ〕	フロアブル テニクロール:4.0 タイムロン:28.0	○	□	○	○	○	○	△	移植前後土壌処理剤として □ オキズンに対する効果の確認
34	NSK-862 〔トクヤマ〕	フロアブル テニクロール:4.0 クミロン:20.0	○	□		○				移植前後土壌処理剤として □ 効果の検討
36	RYH-109 〔ロース・フーラン油化〕	フロアブル 新規(未):1.2	○	□	○	△	□	○	△	移植前後土壌処理剤として ○(北海道) □(東北～九州) 薬害の検討
37	RYH-110-1kg 〔ロース・フーラン油化〕	粒 MY-100(未):0.8 ピラゾスルフロンエチル:0.3	○	○	○	○	○	□	□	○(北海道～関東) □(近畿～九州) 効果, 薬害の検討(温度反応)
39	RYH-115 〔ロース・フーラン油化〕	フロアブル フレチラクロール:5.0 ベンゾフェナック:12.0	○	○	○	○	○	◎	□	初・中期一発処理剤として ○ 効果, 薬害の確認
40	S-28-1kg 〔住友化学〕	粒 ブタミス:12.0	○	○	○	□	◎	○	□	移植後土壌処理剤として □ オキズンに対する効果の確認
41	S-889-1kg 〔住友化学〕	粒 ブタミス:7.0 ブモブチド:6.0	◎	○	○	○	○	○	□	移植後土壌処理剤として ◎(北海道) ○(東北～九州)
42	SB-533 〔エス・デー・エス〕	フロアブル 未公開(2種):12 (W/V)	□	□	○	○	○	○	○	一年生持続型除草剤として □(北海道) ○(東北～九州) 効果の持続性について

No	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	試験実施場所別総合評価							中央判定結果 [今後の課題点等]
			北海道	東北	北陸	関東	近畿	中国	九州	
43	SB-534 [エス・デー・エス]	フロアブル 未公開(2種):10 (W/V)	△	□	○	○	○	○	△	一年生持続型除草剤として △(北海道) □(東北～九州) 効果の持続性について
44	SL-498E-1kg [石原産業]	粒 ビラジキシフェン:10 フレンチクロール:3.0 シメトリン:1.0	○	○	○	□	○	○	□	移植後土壌処理剤として ○(一年生及び3ヶ月対象) 効果、薬害の確認
45	TH-951 [武田薬品]	フロアブル イマズスルホン:1.5 ビラジキシフェン:10 メフェナセート:8.0 タライモン:18	○	○	○	○	○	◎	○	初期一発処理剤として ○ 効果、薬害の確認
46	YH-570 [八洲化学]	フロアブル ビラジキシフェン:12.0 AC-140:1.2	□	□	○	○	○	○	△	初期一発処理剤として □ 製剤の検討 効果、薬害の検討
47	YH-577-1kg [八洲化学]	粒 既知1:24.0 既知2:3.3 既知3:2.4		○		○				茎葉兼土壌処理剤として ○ 効果、薬害の確認
追 48	NSK-863 [トクヤマ]	フロアブル テニクロール:4 クロメプロップ:6	○	□	□	□	○	□	□	移植後土壌処理剤として □(一年生及び3ヶ月対象) 薬害の検討
追 49	CDS-941 [永光化成]	フロアブル CH-900:5.5 ペンシルフロンメチル:1.4 タライモン:10	○							初・中期一発処理剤として ○ 効果、薬害の確認
追 50	CDS-941① [永光化成]	フロアブル CH-900:5.5 ペンシルフロンメチル:1 タライモン:10				□		◎	□	初・中期一発処理剤として □ 効果変動の確認
追 51	MC-79①-1kg [八洲化学]	粒 ビフェノックス:16%	□	○	○	□	○	◎	□	移植前後土壌処理剤として □ 効果、薬害の検討

改訂 雑草学用語集

日本雑草学会／編集・発行
B5判 234頁 定価7,210円(税込)

雑草を研究する上で必須の文献として高い評価を受けてきた旧版を大幅に改訂。雑草学研究に必要な用語はこれ1冊でこと足りるようという編集方針のもとに、第I編 学術用語編では現時点で必要な用語、解説用語を新たに選び直した。さらに第II編 雑草名編では新たに100種を追加し、第III編 除草剤名編では新たな薬剤も加え、わが国で登録されたことのある薬剤すべてを網羅した。

呈内容見本

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665

第2表 平成7年度水稻関係除草剤適2試験成績判定結果一覧

判 定 区 分	実 績	継	継 ?
II-1. 移植前土壌混和处理	CG-113乳, RPC-208乳, TCG-128乳.		
II-2. 移植前後土壌処理	CG-113-1kg粒, KPP-314㊦ フロアブル, KPP-314-1kg粒, KUH-942-1kg粒, MC-79㊦- 1kg粒, SB-528フロアブル, SL -970フロアブル, X-52-1kg粒, YH-411-1kg粒.	NSK-850フロアブル, MSK- 859フロアブル.	
II-3. 移植後土壌処理	CG-113乳, DH-945フロアブル, S-28-1kg粒, S-889-1kg粒, SB-529-1kg粒, SB-530-1kg 粒, SL-498E-1kg粒, TSM- 612フロアブル, TSR-121フロア ブル, Y-873粒, YH-3-1kg粒, YH-562フロアブル.	CGM-15㊦-1kg粒, HSA-951 -1kg粒, KUH-958フロアブル, RYH-115フロアブル, MSK- 863フロアブル.	RPC-208 乳.
II-4. 茎葉兼土壌処理	DEH-112-1kg粒, DEH・BAS乳 (ME), MKS-245水和.		
II-5. 適用時期拡大	DEH-112乳(ME), DEH-112 -1kg粒, DEH・BAS乳(ME), MKS-245水和, NS-177粒, モリネートSM-1kg粒.		
II-6-(1) クログワイ対 象	DEH・BAS乳(ME), DPX-47 MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47 TD-1kg粒, DPX-84MN㊦-1kg 粒, NC-311HW-1kg粒, TDS- 888フロアブル, TDS-888㊦フロ アブル.	CH-904D-1kg粒, CH-904K- 1kg粒, CDS-941フロアブル, CDS-941㊦フロアブル, KUH- 931-1kg粒, KUH-936B-1kg 粒, MK-243DS-1kg粒, MKS- 245水和, YH-3-1kg粒, DPX- 84MN-1kg粒.	
II-6-(2) オモダカ対象	DEH・BAS乳(ME), DPX-47MN -1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-47 TD-1kg粒, KUH-888-1kg粒, DPX-84MN㊦-1kg粒, NC-311 HW-1kg粒, TDS-888フロアブ ル, TDS-888㊦フロアブル.	CH-904K-1kg粒, CDS-941フ ロアブル, CDS-941㊦フロアブル, MK-243DS-1kg粒, NC-311T -1kg粒.	
II-6-(5) シズイ対象	CH-904K-1kg粒, DEH・BAS乳 (ME), DPX-47ND-1kg粒, NC-311KP-1kg粒.	YH-3-1kg粒.	

判 定 区 分	実 ・ 継	継	継 ?
II-6-(6) エゾノサヤヌ カグサ対象	CH-904K-1kg 粒, DEH・BAS 乳 (ME), DPX-47ND-1kg 粒, HSW-941-1kg 粒, KUH-931- 1kg 粒, NC-311KP-1kg 粒, TDS-888フロアブル, TH-913 ADE-1kg 粒.		
II-6-(7) クサネム対象	NSK-855フロアブル.	NSK-855㊦フロアブル, TDS- 888㊦フロアブル.	
II-6-(8) コウキヤガラ 対象	CH-904K-1kg 粒, DEH・BAS 乳 (ME), DPX-47ND-1kg 粒, DPX-84MN㊦-1kg 粒, NC- 311T-1kg 粒, NC-329-1kg 粒, SKH-8602㊦粒, TH-913HSK -1kg 粒, TH-913SN-1kg 粒, TH-913STフロアブル.	CH-904D-1kg 粒.	
II-6-(9) そ の 他		DPX-84MN㊦-1kg 粒 (キシウ スズメノヒエ), NC-329-1kg 粒 (タウコギ), TDS-888フロアブ ル (タウコギ)	
III-1. 湛水直播	DEH-112-1kg 粒, DEH・BAS 乳 (ME), KUH-883㊦-1kg 粒.	SW-HW-1kg 粒.	
III-2. 乾田直播	DEH-112 乳 (EW), DEH・BAS 乳 (ME), HW-932 乳, KUH- 911 液.		
IV. 畦畔雑草	PR-084 液, BGX-816 水溶, MON-93A 液. Hoe-866-3H 水和, KUH-913 液.	NC-302㊦フロアブル, NH-401 フロアブル, SC-224 液, WOC- 01 液, WOC-02 液, NH-501 フ ロアブル.	
V. 耕起前	SC-224 液, ULV-03 液, WOC- 01 液, MW-851 液 (不耕起移植), SC-224 液 (不耕起移植), YF- 65㊦液 (不耕起移植), SC-224 液 (不耕起直播), グリホサート 液 (不耕起直播), MON-8794 液, グリホサート 液 (不耕起移植).	WOC-02 液.	
VII-1. 初期一発処理剤	HJ-941-1kg 粒, HSW-941-1 kg 粒, KPP-932フロアブル, KPP-932-1kg 粒, NC-311CG -1kg 粒, NC-311KP㊦顆粒水和, NC-311KP-1kg 粒, NSK-855 フロアブル, NSK-855㊦フロアブ ル, SL-970フロアブル, TDS- 888フロアブル, TDS-888㊦フロ	DND-950フロアブル, DND-950 ㊦フロアブル, NBA-074-1kg 粒, NBA-075フロアブル, NBA-076 a-1kg 粒, NBA-076b-1kg 粒, TH-951フロアブル.	

判定 区分	実 継	継	継 ?
VII-1. 初期一発処理剤 (つづき)	アブル, TH-913ADS①粒, TH-913ADS①-1kg粒, TH-913 HSK-1kg粒, TH-913STフロアブル, YH-570フロアブル, SL-498-1kg粒.		
VII-2. 初・中期一発処理剤	AC-014E-1kg粒, AGH-925-1kg粒, CH-904フロアブル, CH-904④フロアブル, CH-904D-1kg粒, CH-904K-1kg粒, CH-906①-1kg粒, CH-907-1kg粒, CH-908-1kg粒, DPX-47MN-1kg粒, DPX-47ND-1kg粒, DPX-47SC-1kg粒, DPX-84MN-1kg粒, DPX-84SC①-1kg粒, DPX-84TD①-1kg粒, HJ-942-1kg粒, DPX-84MN①-1kg粒. HJ-943-1kg粒, HJ-946-1kg粒, KUH-883-1kg粒, KUH-883①-1kg粒, KUH-931-1kg粒, KUH-936B-1kg粒, KUH-936C-1kg粒, KUH-951-1kg粒, KUH-956-1kg粒, MK-243D①-1kg粒, MK-243DS-1kg粒, NBA-941-1kg粒, NBA-942a-1kg粒, NBA-942b-1kg粒, NBA-943-1kg粒, NC-311DCD-1kg粒, NC-311HW-1kg粒, NC-311SC①-1kg粒, NC-329-1kg粒, NC-339-1kg粒, NC-355顆粒水和, NC-365-1kg粒, NC-366-1kg粒, NCH-903DEH-1kg粒, NTN-831-1kg粒, TH-913ADE-1kg粒, TH-913SN-1kg粒, TH-913SSC粒, CDS-941フロアブル, CDS-941①フロアブル.	AC-014F-1kg粒, DKH-951-1kg粒, DPX-84NDフロアブル, DPX-84ND④フロアブル. KUH-952-1kg粒, MK-243Dフロアブル, MK-243D④フロアブル, NBA-071-1kg粒, NBA-072-1kg粒, NBA-073-1kg粒, NC-339顆粒水和, NC-367-1kg粒, NC-368-1kg粒, NSK-858フロアブル, NSK-858①フロアブル, RYH-102-1kg粒, RYH-103フロアブル.	
VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤	AC-014A粒, AC-014A④粒, AC-014C-1kg粒.	AC-014A-1kg粒.	
VII-3-(2) 一年生持続型除草剤	CH-902-1kg粒, CHG-948-1kg粒.		
VIII-1. 少量散布法	NC-311SC①-1kg粒, SL-498-1kg粒.	SL-498⑧-1kg粒.	
VIII-2. 少量散布	CGM-71フロアブル, TCG-128乳, TSR-121フロアブル.		

注) IV哇唑雑草対象のMON-8794液剤は翌春の効果の調査結果を含めて判定をする。

本年度の効果と翌春の効果と併せて判断するため判定は保留する。

第3表 平成7年度水稻除草剤ジャンボ剤

区 分	判 定	実 ・ 継	継	継 ?
II-2. 移植前後土壌処理		KPP-2005.		
II-3. 移植後土壌処理		AKD-7036, CG-113.		
II-4. 茎葉兼土壌処理		DEH-112.		
II-5. 適用時期拡大		DEH-112.		
II-6-(1) クログワイ対象		JC-940.		
VII. 一発処理剤		<u>SW-951, SW-951</u> ①.	NCG-370, SW-952, SW-952 ①.	
VII-3-(1) 長期持続型一 発処理剤		<u>AC-140, AC-014C.</u>		
VII-3-(2) 一年生持続型 除草剤		<u>AC-140</u> ①.		

注: 1) 本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2) 本年度は「継?」と判定された薬剤はRPC-208乳剤、及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

新刊

SHIBUYA INDEX

—Index of Pesticides— 1996年版

(英語版)

渋谷成美・ほか／編集 A4判 850頁 定価30,000円(税込)

1978年に第1版を発行して以来、簡便に使える農薬リストとして知られていた本書の第7版。世界の農薬すべてを網羅し、一般名、商品名、コードナンバー、メーカー名、構造式、適用場面、特性を記載。単剤3,300余種を構造別に整理し、関連化合物の検索も容易にできる。また、混合剤で4,100余種も掲載。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665

呈内容見本

水田雑草の生態と防除 —水稻作の雑草と除草剤解説—

宮原益次／著
 A5判 定価3,090円(税込)

水田雑草の発生特性、雑草害について著者40年の知見を網羅。さらに水田における合理的で省力的・低コストの雑草防除について解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
 Tel. 03-3833-1821 Fax. 03-3833-1665

平成7年度 水稻関係除草剤使用基準一覧表

II-1 移植前土壌混和処理

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツバ	ホタルイ	クリカワ	ミズカサ	ヘラオモ	クログ	オモダ	ヒルムシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深	使用上の注意
II-1 1. CG-113 乳	土壌混和処理	北海道	○	○	○			○					植代時 (〜4)	30〜50 ml/a	1.5 ○	○	○	○	2	混和時の水深 3〜5cm 混和深 2〜3cm
		東北	○	○	○		○	○												
		北陸	○	○	○		○	○												
		関東	早	○	○	○	○	○												
		東海	普	○	○	○	○	○												
		近畿	早	○	○	○	○	○												
		中国	普	○	○	○	○	○												
		四国	早	○	○	○	○	○												
		九州	早	○	○	○	○	○												
		普	○	○	○		●													
II-1 2. RPC-208 乳	土壌混和処理	北海道	○	○	○			○					植代時 (〜4)	50 ml/a	1.5 ○	○	○	○	2	混和時の水深 3〜5cm 混和深 2〜3cm
		東北	○	○	○		○													
		北陸	○	○	○		○													
		関東	早	○	○	○	○	○												
		東海	普	○	○	○	○	○												
		近畿	早	○	○	○	○	○												
		中国	普	○	○	○	○	○												
		四国	早	○	○	○	○	○												
		九州	早	○	○	○	○	○												
		普	○	○	○															
II-1 3. TCG-128 乳	土壌混和処理	北海道	○	○	○			○					植代時 (〜4)	50 ml/a	1.5 ○	○	○	○	2	混和時の水深 3〜5cm 混和深 2〜3cm
		東北	○	○	○		○													
		北陸	○	○	○		○													
		関東	早	○	○	○	○	○												
		東海	普	○	○	○	○	○												
		近畿	早	○	○	○	○	○												
		中国	普	○	○	○	○	○												
		四国	早	○	○	○	○	○												
		九州	早	○	○	○	○	○												
		普	○	○	○															

II-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツバ	ホタルイ	クリカワ	ミズカサ	ヘラオモ	クログ	オモダ	ヒルムシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深	使用上の注意
II-2 1. CG-113-1kg 粒	土壌処理	北海道	○1	○	○始			○始					植代後〜4 ($\pm 0 \sim \pm 5$ t/1L)	100 g/a	1.5 ○	○	○	○	2	
		東北	○1	○	○始		○始	○始												
		北陸	○1	○	○始		○始	○始												
		関東	早	○1	○	○始														
		東海	普	○1	○	○始														
		近畿	早	○1	○	○始														
		中国	普	○1	○	○始														
		四国	早	○1	○	○始														
		九州	早	○1	○	○始														
		普	○1	○	○始															

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意				
Ⅱ-2 2. KPP-314 7077 ^ル	土壌処理	北海道	●	始	●										植代後～4. +0～+3 (ノビエ始)	50 ml/a			●	●	2	(5)				
		東北	●	始	●														●	●	1.5					
		北陸	●	始	●															●	●		2			
		関東 東山 東海	早	●	始	●														●	●		●	1		
			普	●	始	●															●		●			
		近畿 中国	早	●	始	●															●		●	●		
			普	●	始	●													●	●	●		●			
		四国	早	●	始	●															●		●	●		
			普	●	始	●														●	●		●	●		
		九州	早	●	始	●															●		●	●	●	
			普	●	始	●															●		●	●	●	

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
Ⅱ-2 3. KPP-314 -1kg 粒	土壌処理	北海道	●	始	●										植代後～4. +0～+5 (ノビエ始)	100 g/a			●	●	2	(5)			
		東北	●	始	●														●	●	1.5				
		北陸	●	始	●														●	●	2				
		関東 東山 東海	早																	●	●		1		
			普	●	始	●														●	●				
		近畿 中国	早	●	始	●														●	●		●	●	
			普	●	始	●													●	●	●		●		
		四国	早	●	始	●														●	●		●	●	
			普	●	始	●														●	●		●	●	
		九州	早	●	始	●														●	●		●	●	
			普	●	始	●														●	●		●	●	

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意				
Ⅱ-2 4. KUH-942 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○	1	○	○	始			○	始				植代後～4. +0～+5 (ノビエ1L)	100 g/a	1.5	○	○	○	○	2				
		東北	○	1	○	○	始	○	始	○	始							●	○	○	○					
		北陸	○	1	○	○	始	○	始	○	始	○	始					○	○	○	○					
		関東 東山 東海	早	○	1	○	○	始	○	始	○	始							○	○	○	○				
			普	○	1	○	●	始	○	始	○	始							○	○	○	○				
		近畿 中国	早	●	1	●	●	始	●	始	●	始								●	●	●		1		
			普	○	1	○	○	始	●	始								●	○	○	○	2				
		四国	早	●	1	●	●	始	●	始										●	●	●		1		
			普	○	1	○	○	始	●	始								●	○	○	○	2				
		九州	早																						1	
			普	○	1	○	○	始	●	始									●	●	○	○				

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラオモ ダカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意				
Ⅱ-2 5. MC-79 ^① -1kg 粒	土壌処理	北海道	●	1	●										植代後～4. +0～+5 (ノビエ1L)	100 g/a	1.5	●	●	●	2	(5)				
		東北	●	1	●														●	●	●		1.5			
		北陸	●	1	●														●	●	●		2			
		関東 東山 東海	早																	●	●		1			
			普	●	1	●															●				●	
		近畿 中国	早	●	1	●															●		●	●		
			普	●	1	●													●	●	●		●			
		四国	早	●	1	●															●		●	●		
			普	●	1	●														●	●		●	●		
		九州	早																							
			普	●	1	●														●	●		●	●		

II-2 6. NSX-850 7077^ル 「継」

II-2 7. NSX-859 7077^ル 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ グ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-2 8. SB-528 7077 ^g	土壌 処理	北海道	● 1	●	● 始			● 始						植代後～4, +0～+5(/t ⁺ 1L)	50 ml/a	●	●	●	●	2	
		東北	● 1	●	● 始			● 始	● 始					+0～+5(/t ⁺ 1L)			●	●	●	1.5	
		北陸	● 1	●	● 始			● 始	● 始					植代後～4, +0～+5(/t ⁺ 1L)			●	●	●	2	
		関東 東山 東海	早 普	● 始 ● 1	● ●	● 始 ● 始		● 始 ● 始						植代後～4, +0～+5(/t ⁺ 1L)			●	●	●	1 2	
		近畿 中国	早 普											植代後～4, +0～+5(/t ⁺ 1L)			●	●	●		
		四国	早 普	● 1	●	● 始		● 始									●	●	●		
		九州	早 普	● 1	●	● 始		● 始										●	●	1	

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ グ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-2 9. SL-970 7077 ^g	土壌 処理	北海道	● 1	●	● 始			● 始						+0～+5 (/t ⁺ 1L)	50 ml/a	●	●	●	●	2	初期利とし く50ml/a 散布が可能 水口処理可能 (北海道) 北陸～九州)
		東北	● 1	●	● 始			● 始	● 始					植代後～4, +0～+5(/t ⁺ 1L)		●	●	●	●	1.5	
		北陸	● 1	●	● 始			● 始								●	●	●	●	2	
		関東 東山 東海	早 普	● 1 ○ 1	● ○	● 始 ○ 始								+0～+5 (/t ⁺ 1L)		●	●	●	●	1 2	
		近畿 中国	早 普	● 1 ● 1	● ●	● 始 ● 始								植代後～4, +0～+5(/t ⁺ 1L)		●	●	●	●	1	
		四国	早 普	● 1 ● 1	● ●	● 始 ● 始										●	●	●	●		
		九州	早 普	● 1 ○ 1	● ○	● 始 ○ 始										●	●	●	○		
																○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ グ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-2 10. X-52-1kg 粒	土壌 処理	北海道	○ 1	○										植代後～4, +0～+5(/t ⁺ 1L)	100 g/a	○	○	○	○	2	
		東北	○ 1	○													○	○	○	1.5	
		北陸	○ 1	○													○	○	○	2	
		関東 東山 東海	早 普	● 1	●												●	●	●		
		近畿 中国	早 普	● 1	●												●	●	●	1	
		四国	早 普	● 1	●												●	●	●		
		九州	早 普	● 1	●													●	●		

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ グ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
II-2 11. YH-411 -1kg 粒	土壌 処理	北海道													100 g/a						
		東北																			
		北陸																			
		関東 東山 東海	早 普	● 1	●	● 始								+0～+5 (/t ⁺ 1L)			●	●	●	2	
		近畿 中国	早 普																		
		四国	早 普																		
		九州	早 普																		

II-3 移植後土壌処理剤

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クロダクワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 1. CG-113	乳	北海道	● 1	●	● 始				● 始					+0~+5 (/t ² ×1L)	30 ml/a	●	●	●	●	2	(6)
		東北	● 1	●	● 始													●	●	1.5	
		北陸	● 1	●	● 始												●	●	●	2	
		関東	早																		
		東海	普																		
		近畿	早																		
		中国	普																		
		四国	早																		
		普																			
		九州	早																		
		普	● 1	●	● 始											●	●	●	●		

II-3 2. CGM-150-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クロダクワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 3. DH-945 7077 ^g 粒	土壌処理	北海道	● 1.5	●										+0~+1.5L	50 ml/a	●	●	●	●	2	
		東北	● 1.5	●													●	●	●	1.5	
		北陸	● 1.5	●												●	●	●	●	2	
		関東	早															●	●	1	
		東海	普													●	●	●	●	2	
		近畿	早																		
		中国	普													●	●	●	●	1.5	
		四国	早													●	●	●	●		
		普															●	●	●		
		九州	早																		
		普	● 1.5	●														●	●	1	

II-3 4. HSA-951-1kg 粒 「継」

II-3 5. KUH-958 7077^g粒 「継」

II-3 6. RPC-208 乳 「継？」

II-3 7. RYH-115 7077^g粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クロダクワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 8. S-28-1kg 粒	土壌処理	北海道	● 1	●										+0~+5 (/t ² ×1L)	100 g/a		●	●	●	2	(18)
		東北	● 1	●														●	●	1.5	
		北陸	● 1	●														●	●	2	
		関東	早																		
		東海	普																		
		近畿	早																		
		中国	普																		
		四国	早																		
		普																			
		九州	早																		
		普	● 1	●													●	●	●	1	

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クロダクワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-3 9. S-889-1kg 粒	土壌処理	北海道	● 1	●	● 始				● 始					+0~+5(/t ² ×1L) +3~+5(/t ² ×1L) +0~+5(/t ² ×1L)	100 g/a	●	●	●	●	2	
		東北	● 1	●	● 始				● 始									●	●	1.5	
		北陸	● 1	●	● 始												●	●	●	2	
		関東	早																		
		東海	普						● 始							●	●	●	●		
		近畿	早																		
		中国	普						● 始								●	●	●	1.5	
		四国	早						● 始									●	●		
		普																			
		九州	早						● 始												
		普	● 1	●	● 始													●	●	1	

	処理法	地域名	作期	減水率										処理時期	使用 量 製品	砂 土	埴 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
				広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カマ	ヘラ タカ	クロ ガ	オモ カ	ヒル ムシ	藻類 剥離									
II-3 10.SB-529 -1kg 粒	土壌処理	北海道	● 1	●	● 始			● 始				+0~+5 (/t・1L)	100 g/a			●	●	2			
		東北	● 1	●	● 始			● 始								●	●				
		北陸	● 1	●	● 始			● 始							●	●	●				
		関東 東山 東海	早 普																		
		近畿 中国	早 普	● 1	●	● 始										●	●	●			
		四国	早 普	● 1	●	● 始										●	●	●			
		九州	早 普	● 1	●	● 始											●	●			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホウライ	クリカワ	ミズ カマ	ヘラタ タカ	クロガ ガ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
II-3 11.SB-530 -1kg 粒	土壌処理	北海道	○1	○	○始			○始					+0~+5 (/t・1L)	100 g/a			○	○	○	2				
		東北	○1	○	○始		○始	○始								○	○	○						
		北陸	○1	○	○始		○始								○	○	○	○						
		関東 東山 東海	早	○1	○	○始	○始								○	○	○	○						
			普	○1	○	○	○始								○	○	○	○						
		近畿 中国	早																○	○		○		
			普	○1	○	○始	○始												○	○		○	1	
		四国	早																	○		○	○	
			普	○1	○	○始	○始																	
		九州	早														+3~+5 (/t・1L)							
普	○1		○	○始														○	○					

	処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	ウリカリ	ミヅ カマ	ヘラオモ タ	クロガ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意			
II-3 12.SL-498E -1kg 粒	土壌処理	北海道	●1.5	●	●始			●始			●前	●前		+0〜+1.5L	100 g/a			●	●	2				
		東北	●1.5	●	●始	●始	●始	●始											●	●	1.5			
		北陸	●1.5	●	●始	●始													●	●	1			
		関東 東山 東海	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始				●前							●	●	●	2		
		近畿 中国	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始												●	●	●	1.5	
		四国	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始												●	●	●		
		九州	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始											●	●	●	●	1	
																			●	●	●	●		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホウライ	クリカワ	ミズ カマ	ヘラ タカ	クロ ガ	オモ カ	ヒル ムシ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-3 13.TSM-612 7077-M	土壌処理	北海道	● 1	●	● 始			● 始							+0~+5 (1t・1L)	50 ml/a		●	●	●	2	初期剤として 50ml/a 散布が可能		
		東北	○ 1	○	○ 始												●	●	○	○				
		北陸	○ 1	○	○ 始												○	○	○	○				
		関東 東山 東海	早	● 1	●	● 始												○	○	○	○			
			普	○ 1	○	○ 始												○	○	○	○			
		近畿 中国	早	● 1	●	● 始															○		●	
			普	○ 1	○	○ 始															○		○	
		四国	早	● 1	●	● 始																	○	●
			普	○ 1	○	○ 始																	○	○
		九州	早																					
普	○ 1		○	○ 始														○	○	2				

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ネトル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タカ	クロ ク	オモ カ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-3 14. TSR-121 7077°N	北海道		○1.5	○	○始								+0~+1.5L	50 ml/a	1.5	○	○	○	○	(33) 同時 田圃可能 (東北・ 関東・ 九州) 水口処理 (全域)
	東北		○1.5	○	○始										○	○	○	○		
	北陸		○1.5	○	○始										○	○	○	○		
	関東 東海	早	○1.5	○	○2										○	○	○	○		
	東海	普	○1.5	○	○2										○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始										○	○	○	○	1	
	中国	普	○1.5	○	○始										○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○1.5	○	○始										○	○	○	○	1	
	四国	普	○1.5	○	○始										○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○1.5	○	○始										○	○	○	○	1	
	九州	普	○1.5	○	○始										○	○	○	○	2	

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ネトル	クリカワ	ミズ カヤ フリ	ヘラ モ タ	クロ ク ラ	オモ カ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-3 15. Y-873	粒	北海道		○1.5	○	○始			○始						+ 3 ~ + 1.5 L	300 g/a	○ 5	○	○	○	2	(3 3)
		東北		○1.5	○	○ 2											○	○	○	○		
		北陸		○1.5	○	○ 2											○	○	○	○		
		関東	早	○1.5	○	○ 2											○	○	○	○		
		東海	普	○1.5	○	○ 2											○	○	○	○		
		近畿	早	○1.5	○	○始											●	○	○	○	1	
		中国	普	○1.5	○	○ 2											○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○1.5	○	○始											●	○	○	○	1	
			普	○1.5	○	○ 2											○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○1.5	○	○ 2											○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○ 2											○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ネトル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タカ	クロ ク	オモ カ	ヒル ムシ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-3 16. YH-3-1kg 粒	北海道												+0~+1.5 (t・x1L)	100 g/a						2
	東北		○1	○																
	北陸		○1	○											○	○	○	○		
	関東 東海	早																		
	東海	普	○1	○			○始									●	○	○	○	1.5
	近畿 中国	早																		
	中国	普																		
	四国	早																		
	四国	普																		
	九州	早																		
	九州	普																		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ネトル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タカ	クロ ク	オモ カ	ヒル ムシ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-3 17. YH-562 7077°N	土壌処理	北海道		● 1	●	● 始			● 始				● 前			+0~+5 (t・x1L)	50 ml/a		●	●	●	2		
		東北		● 1	●	● 始			● 始				● 前						●	●	●	1.5		
		北陸		● 1	●	● 始							● 前						●	●	●	2		
		関東 東海	早													+3~+5 (t・x1L)				●	●	●		●
		東海	普	● 1	●	● 始							● 前						●	●	●	●		
		近畿 中国	早																					
		中国	普																					
		四国	早																					
		四国	普																					
		九州	早																					
九州	普																							

Ⅱ-3 18. NSK-863 7077°N 「継」

II-4 茎葉兼土壌処理剤

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモタカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	塩土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-4 1. DEH-112 -1kg 粒	茎葉兼土 処理	北海道	○3										1/2 x 2L ~ 3 L	100 g/a	○	○	○	○	2	5cm程度 の水深で 使用する (47)
		東北	○3												●	○	○	○		
		北陸	○3												○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早	○3											○	○	○	○		
			普	○3											○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○3											●	○	○	○	1	
			普	○3											●	○	○	○	2	
		四国	早	○3											●	○	○	○	1	
			普	○3											●	○	○	○	2	
		九州	早	○3											○	○	○	○	1	
			普	○3											○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモタカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	塩土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-4 2. DEH-BAS 乳(WE)	茎葉兼土 処理	北海道	○5	○	○4	○4		○4					1/2 x 2L~5L 1/2 x 3L~4L 1/2 x 2L~4L 1/2 x 2L~5L 1/2 x 2.5L~4.5L 1/2 x 2L~5L	100 ml/a 散布 水量 7~10 l/a	○	○	○	○	2	(6) (10) (11) (12) 使用直前 に希釈す る。 *花茎抽出始
		東北	○4	○	○3	○4	○5	○4							●	○	○	○		
		北陸	○4	○	○*	○5	○5	●5							○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早	○4	○	○4	○4	○3							○	○	○	○		
			普	○5	○	○4	○3	○3							○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○4.5	○	○4	○4	○4							●	○	○	○	1.5	
			普	○4.5	○	○4	○4	○4							○	○	○	○		
		四国	早	○4.5	○	○4	○4	○4							●	○	○	○		
			普	○4.5	○	○4	○4	○4							○	○	○	○		
		九州	早	○5	○	○*	○5								○	○	○	○	1	
			普	○5	○	○*	○5								○	○	○	○	1.5	

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモタカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	塩土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-4 3. MKS-245 水和	茎葉兼土 処理	北海道											1/2 x 3L~4L	100 g/a 散布 水量 10 l/a 着加 用						(6) (10) (11) (12) 使用直前 に希釈す る。
		東北																		
		北陸																		
		関東 東山 東海	早																	
			普																	
		近畿 中国	早																	
			普	●4	●	●*	●4								●	●	●	●	2	
		四国	早																	
			普	●4	●	●*	●4								●	●	●	●		
		九州	早	●4	●	●*	●4								●	●	●	●		
			普	●4	●	●*	●4								●	●	●	●		

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミスヤフリ	ヘラオモタカ	クログワイ	オモタカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	塩土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
II-5 1. DEH-112 乳(EW)	茎葉兼土 処理	北海道	○5										125~140 (1/2 x 2L~5L) 125~140 (1/2 x 3L~5L) 125~140 (1/2 x 2.5L~5L) 125~150 (1/2 x 2L~5L)	10 ml/a 散布 水量 7~10 l/a 着加 用	○	○	○	○	2	(21) 使用直前 に希釈す る。
		東北	○5												○	○	○	○		
		北陸	○5												○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早	○5											○	○	○	○		
			普	○5											○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○5											○	○	○	○	1	
			普	○5											○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○5											○	○	○	○	1	
			普	○5											○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○5											○	○	○	○	2	
			普	○5											○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカヤフリ	アラオモタカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	堆土	堆土	減水cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 2. DEN-112 -1kg 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早	○ 3										+15~+30 (/t'x2L~3L)	100 g/a	○	○	○	○	2	{ 2 1 } (4 7) 5cm程度の 水深で使用する
		普	○ 3												○	○	○	○		
		早	● 3												●	●	●	●	1	
		普	○ 3												○	○	○	○	2	
		早	○ 3												○	○	○	○	1.5	
		普	○ 3												○	○	○	○		
		早	○ 3												○	○	○	○		
		普	○ 3												○	○	○	○		
		早	○ 3												○	○	○	○	2	
		普	○ 3												○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカヤフリ	アラオモタカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	堆土	堆土	減水cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 3. DEN-BAS 乳(ME) Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) Ⅱ-6-(8) を併用	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早	○ 5	○	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4					+25~+40 (/t'x2L~5L) 0*** 00** +25~+40 (/t'x3L~5L) +25~+50 (/t'x3L~5L) +25~+40 (/t'x2.5L~4.5L) +25~+50 (/t'x2L~5L)	100 ml/a 散布 水量 7~10 l/a	○	○	○	○	2	{ (6) (1 0) (1 2) (2 1) (3 6) (4 0) 使用直前 に希釈する
		普	○ 5	○	○ 3	● 4	○ 5	○ 4	●	●					○	○	○	○		
		早	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5	○ 5	●	●					○	○	○	○		
		普	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5	○ 5	●	●					○	○	○	○		
		早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	●	●					○	○	○	○	1	
		普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	●	●					○	○	○	○	1.5	
		早	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	●	●					○	○	○	○	1	
		普	○ 4.5	○	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	●	●					○	○	○	○	1.5	
		早	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5	○ 5	●	●					○	○	○	○	2	
		普	○ 5	○	○ *	○ 5	○ 5	○ 5	●	●					○	○	○	○		

* : 花茎抽出始 ** : 1)シシイ 草丈5cm程度、2)ツツハナラ 発生盛期 *** : ツツハナラ 発生始~4 L
 クログワイ防除は、クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北、関東~九州)
 クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東~九州)
 ツツハナラ防除は、ツツハナラに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北~東海、九州)

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカヤフリ	アラオモタカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	堆土	堆土	減水cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 4. MRS-245 水和	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早											+25~+40 (/t'x2.5L~5L)	100 g/a 散布 水量 10 l/a ※希釈 剤用						{ (6) (1 0) (1 2) (2 1) (3 6) (4 0) 使用直前 に希釈する
		普																		
		早																		
		普																		
		早	● 5	●	● *	● 4	● 4								●	●	●	●	1	
		普	● 5	●	● *	● 4	● 4								●	●	●	●		
		早	● 5	●	● *	● 4	● 5								●	●	●	●	1.5	
		普	● 5	●	● *	● 4	● 5								●	●	●	●		
		早																		
		普																		

* : 花茎抽出始

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズカヤフリ	アラオモタカ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	堆土	堆土	減水cm/d	使用上の注意
Ⅱ-5 5. NS-177 粒	北海道 東北 北陸 関東 東海 近畿 中国 四国 九州	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始	+20~+25 (/t'x2.5L) +20~+25 (/t'x2L) +20~+25 (/t'x2L)	300 g/a	○	○	○	○	2	{ (3) (3) (2 8) (3 8) (4 0) (4 2) (4 3)
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始			○	○	○	○		
		早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始			○	○	○	○		
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始			○	○	○	○		
		早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始			○	○	○	○	1.5	
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始			○	○	○	○		
		早	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始			○	○	○	○		
		普	○ 2	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 始	○ 始	○ 始	○ 始			○	○	○	○		
		早																		
		普																		

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(東北、関東~四国)
 オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する(北陸、近畿~四国)

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ ワリ	ヘラモ タダ	クロガ ワイ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 腐離 シ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-5 6. 50g SM 1kg 粒	茎葉 葉 葉 葉 葉 葉 葉 葉 葉 葉	北海道	早	○2.5	○	○3	○4		○4			○前	20~	25(ハ・エ2.5L)	100 g/a	○	○	○	○	2	(1) (8) (9) (2) (3) (9)
		東北	早	○3.5	○	○3	○4	○3	○4			○前		20~+30 (ハ・エ3.5L)		○	○	○	○		
		北陸	早	○3.5	○	○3	○4	○3	○4			○前				○	○	○	○		
		関東 東海	早	○3.5	○	○3	○4	○3				○前				○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○3.5	○	○3	○4	○3				○前				○	○	○	○	1	
		四国	早	○3.5	○	○3	○4	○3				○前				○	○	○	○		
		九州	早	○3.5	○	○3	○4	○3				○前				○	○	○	○		
			普	○3.5	○	○3	○4	○3				○前				○	○	○	○		
			普	○3.5	○	○3	○4	○3				○前				○	○	○	○		
			普	○3.5	○	○3	○4	○3				○前				○	○	○	○		

Ⅱ-6-(1) クログワイ対象

Ⅱ-6-(1) 1. CH-904D-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) 2. CH-904K-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) 3. CDS-941 フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(1) 4. CDS-941D フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(1) 5. DEH-BAS 乳(ME) 「実・継」 Ⅱ-5 No.3 参照

Ⅱ-6-(1) 6. DPX-47MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.12 参照

Ⅱ-6-(1) 7. DPX-47ND-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.13 参照

Ⅱ-6-(1) 8. DPX-47SC-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.14 参照

Ⅱ-6-(1) 9. DPX-47TD-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	広葉 マハ・イ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ ワリ	ヘラモ タダ	クロガ ワイ	オモ カ	ヒルム シロ	藻類 腐離 シ		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土 1.5	塩 土	塩 土	塩 土	水 減深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅱ-6-(1) Ⅱ-6-(2) を併用	茎葉土 土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 前	○発生 前	○*	+5~1/ト×2.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (36) (38) (40) (42)	
		東北	早	○3	○	○2	○2	○2	○2	●前	●前	○発生 前	○発生 前	00**	+5~1/ト×3L		○	○	○	○			
		北陸	早	○3	○	○2	○2	○2				○発生 前	○発生 前				○	○	○	○			
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生 前	○発生 前		+5~1/ト×2.5L		○	○	○	○			
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生 前	○発生 前		*:エゾノササキダケ 2L *:1)シズイ 発生-13cm コナキナウ 発生		○	○	○	○	1		
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生 前	○発生 前				○	○	○	○			
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2				○発生 前	○発生 前		+5~1/ト×2L		○	○	○	○			
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生 前	○発生 前		+5~1/ト×2.5L		○	○	○	○			

7077に有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、近畿~四国)
 7077に有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

Ⅱ-6-(1) 10. DPX-84MND-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.16 参照

Ⅱ-6-(1) 11. KUH-931-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) 12. KUH-936B-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) 13. MK-243DS-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) 14. MKS-245 水和 「継」

Ⅱ-6-(1) 15. NC-311HW-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.45 参照

Ⅱ-6-(1) 16. TDS-888 フロアブル 「実・継」 VII-1 No.19 参照

Ⅱ-6-(1) 17. TDS-888D フロアブル 「実・継」 VII-1 No.20 参照

Ⅱ-6-(1) 18. YH-3-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) 19. DPX-84MN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.15 参照

Ⅱ-6-(2) オモダカ対象

Ⅱ-6-(2)	1. CH-904K-1kg	粒	「継」		
Ⅱ-6-(2)	2. CDS-941	7077 [°] ル	「継」		
Ⅱ-6-(2)	3. CDS-941	7077 [°] ル	「継」		
Ⅱ-6-(2)	4. DEH-BAS	乳(WE)	「実・継」	Ⅱ-5 No. 3	参照
Ⅱ-6-(2)	5. DPX-47MN-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 12	参照
Ⅱ-6-(2)	6. DPX-47ND-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 13	参照
Ⅱ-6-(2)	7. DPX-47SC-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 14	参照
Ⅱ-6-(2)	8. DPX-47TD-1kg	粒	「実・継」	Ⅱ-6-(1) No. 9	参照
Ⅱ-6-(2)	9. DPX-84MN	1kg 粒	「実・継」	VII-2 No. 16	参照
Ⅱ-6-(2)	10. KUH-883-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-2 No. 25	参照
Ⅱ-6-(2)	11. MK-243DS-1kg	粒	「継」		
Ⅱ-6-(2)	12. NC-311HW-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 45	参照
Ⅱ-6-(2)	13. NC-311T-1kg	粒	「継」		
Ⅱ-6-(2)	14. TDS-888	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 19	参照
Ⅱ-6-(2)	15. TDS-888	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 20	参照

Ⅱ-6-(5) シズイ対象

Ⅱ-6-(5)	1. CH-904K-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 7	参照
Ⅱ-6-(5)	2. DEH-BAS	乳(WE)	「実・継」	(前年通り) Ⅱ-5 No. 3	参照
Ⅱ-6-(5)	3. DPX-47ND-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 13	参照
Ⅱ-6-(5)	4. NC-311KP-1kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 15	参照
Ⅱ-6-(5)	5. YH-3-kg	粒	「継」		

Ⅱ-6-(6) エゾノサヤマカグサ対象

Ⅱ-6-(6)	1. CH-904K-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 7	参照
Ⅱ-6-(6)	2. DEH-BAS	乳(WE)	「実・継」	Ⅱ-5 No. 3	参照
Ⅱ-6-(6)	3. DPX-47ND-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 13	参照
Ⅱ-6-(6)	4. HSW-941-1kg	粒	「実・継」	(前年通り) VII-1 No. 6	参照
Ⅱ-6-(6)	6. KUH-931-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 27	参照
Ⅱ-6-(6)	7. NC-311KP-kg	粒	「実・継」	VII-1 No. 15	参照
Ⅱ-6-(6)	8. TDS-888	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 19	参照
Ⅱ-6-(6)	9. TH-913ADE-1kg	粒	「実・継」	VII-2 No. 61	参照

Ⅱ-6-(7) クサネム対象

Ⅱ-6-(7)	1. NSK-855	7077 [°] ル	「実・継」	VII-1 No. 16	参照
Ⅱ-6-(7)	2. NSK-855	7077 [°] ル	「継」		
Ⅱ-6-(7)	3. TDS-888	7077 [°] ル	「継」		

II-6-(8) 1. CH-904D-1kg 粒 「繼」

Π-6-(8) 2. CH-904K-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.7 参照

II-6-(8) 3. DEH・BAS 乳(WE) 「実・継」 (前年通り) II-5 No. 3 参照

II-6-(8) 4. DPX-47ND-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.13 参照

II-6-(8) 5. DPX-84MNI-1kg 粒 「実・継」 (前年通り) VII-2 No.16 参照

II-6-(8) 6. NC-311T-1kg 粒 「実・継」 VII-2の使用基準に併用

[illegible]

II-6-(8) 7. NC-329-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No. 47 参照

II-6-(8) 8. SKH-8602① 粒 「実・継」 VII-1の使用基準に併用

処理方法	地域名	作期	1年 広葉 マツ	ナガキ	ミヅ ナガキ	ヘナモ ナガキ	カガ ナガキ	オモナ ナガキ	ヒナシ ナガキ	藻類腐 敗期	処理時期		使用 土 砂	土 壌	土 壌	土 壌	土 壌	減 深 cm/d	使用上の 注意		
											切 リ 前 シ ヤ ー ○始	○始									
Ⅱ-6-(8) を併用	粒 土 境 理 剂	北海道	○2	○	○2	○始	○2		○	○発 生期	○前	○再 生 前 シ ヤ ー ○始	○始	300 g/a	○	○	○	○	2	(3) (2) (6)	
		東北	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期		○始		○	○	○	○		(3) (4) (6)	
		北陸	○2	○	○2	○2	○2	○2					○始			○	○	○		(3) (4) (6)	
		関東	早	○2	○	○2	○始	○2			○発 生期	○	○再 生 前 シ ヤ ー ○始			○1	○	○	○	1.5	(4) (1)
		東海	普	○2	○	○2	○始	○始		○始	○始	○期	○前			○	○	○	○	2	(4) (2)
		近畿	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発 生期	○	○再 生 前 シ ヤ ー ○始			○	○	○	○		
		中国	早	○2	○	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○	○再 生 前 シ ヤ ー ○始		○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○	○再 生 前 シ ヤ ー ○始		○	○	○	○		
		四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2		○發 生期	○	○再 生 前 シ ヤ ー ○始			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○2		○始	○始	○期	○		○	○	○	○		
		九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2		○發 生期	○	○再 生 前 シ ヤ ー ○始			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○2		○始	○期	○	○再 生 前 シ ヤ ー ○始		○	○	○	○	1.5	

ノグライに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東～九州)
 トリガに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、近畿～四国)

II-6-(8) 9. TH-913HSK-1kg 粒 「実・継」 VII-1 No. 23 参照

II-6-(8) 10.TH-913SN-1kg 粒 「実・継」 VII-2 No.62 参照

Π-6-(8) 11.TH-913ST 7077nd 「実・継」 VII-1 No.24 参照

Ⅱ - 6 - (9) その他

Π-6-(9) 1. DPX-84MNL-1kg 粒 「繼」

II-6-(9) 2. NC-329-1kg 粒 「繼」

II-6-(9) 3. TDS-888 フロアブル 「継」

Ⅲ-1 湛水直播

													処理時期	使用量・製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラ タカ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		100 ~150 g/a (3.5 以上の 150 g/a)						
Ⅲ-1 1. DEH-112 -1kg 粒	事業処理	北海道	○4											1/2×2L ~4L	○	○	○	2	5cm程度 の水深で 使用する (47)	
		東北	○4												○	○	1.5			
		北陸	○4												○	○	1			
		関東 東海	早 普	○4											○	○	○	2		
		近畿 中国	早 普	○4												○	○	1		
		四国	早 普	○4												○	○			
		九州	早 普	○4												○	○	○		2
処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハイ	ホタルイ	ウリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラ タカ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離		100 ml/a (8 ~10 ml/a)						
Ⅲ-1 2. DEH-BAS 乳(ME)	事業処理	北海道												1/2×3L~5L						(6) (10) (11) (12) (21) 使用する。 使用直前に希釈 する。
		東北																		
		北陸																		
		関東 東海	早 普																	
		近畿 中国	早 普	●5	●	●4										●	●	●	1	
		四国	早 普	●5	●	●4										●	●	●		
		九州	早 普	●5	●	●4	●5	●5								●	●	●	2	

Ⅲ-1 3. SW-HW-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハイ	ホタテ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラ タカ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-1 4. KUH-883 -1kg 粒	北海道												1/2×1.5L~ 1/2×2.5L	100 g/a					1	機耕播き 条播 適正覆土
	東北																			
	北陸	○2.5	○	○2													○	○	1	
	関東 東海	早 普	○2	○	○2	○2	○2				発生期				○		○	○	2	
	近畿 中国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2										○	○	1	
	四国	早 普	○2.5	○	○2	○2	○2					再生始					○	○		
	九州	早 普										始					○	○		

Ⅲ-2 乾田直播

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マハイ	ホタテ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラ タカ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅲ-2 1. DEH-112 乳(EW)	北海道												1/2×3L~ 5L (入水前)	10 ml/a (8 ~10 ml/a 乾期 前)					1	使用直前 に希釈 する。
	東北	○5															○	○		
	北陸	○5															○	○		
	関東 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普	○5														○	○		
	四国	早 普	○5														○	○		
	九州	早 普	○3															○		

IV 3. NC-302 液 7077# 「継」

IV 4. NB-401 液 7077# 「継」

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 5. PR-084 液	北海道	● 全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	50~70ml/a (一年生雑草は25ml/a)	全土壌	(23) (24)
	東北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 6. SC-224 液	北海道	○ 全草種(スギナは除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	20~40ml/a(10ℓ/a) 少量散布:10倍液500~600 ml/aでも有効。専用の散布 ノズルを用いる。 (九州は10倍液400ml/a可能) 少量散布:1ℓ/aの希釈水量 (40~60ml/a)でも有効 (東北~四国)	全土壌	(23) (24)
	東北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

IV 7. WOC-01 液 「継」

IV 8. WOC-02 液 「継」

IV 9. MON-8794 液 試験継続中(本年度の効果と翌春の効果を併せて判断するため判定は保留する。)

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 10. BGX-816 水溶	北海道	○ 全草種	雑草生育期 (草丈30cm以下)	40~80g/a(10ℓ/a)	全土壌	(23) (24)
	東北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州			40~60g/a(10ℓ/a)		

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
IV 11. MON-93A 液	北海道	○ 全草種 (スギナは除く)	雑草生育期 (草丈30cm以下)	25~50 ml/a(10ℓ/a) (東北は、50ml/a) 少量散布:希釈水量2.5ℓ/a でも有効。専用の散布ノ ズルを用いる。 (北海道、関東~九州)	全土壌	(23) (24)
	東北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

IV 12. NH-501 液 7077# 「継」

V 耕起前

処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 1. SC-224 液	北海道	○ 一年生雑草	雑草生育期 耕起前10日以前	40~75ml/a(10ℓ/a)*	全土壌	(25) *希釈水量2.5ℓ/a でも有効。 専用の散布ノズル を用いる。 (東北~九州)
	東北					
	北 陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四 国					
	九 州					

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 2. ULV-03 液	茎葉処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前7日まで	3000～5000ml/a 原液散布：専用の散布機を用いる	全土壌	(25)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 3. WOC-01 液	茎葉処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 耕起前10日以前	50～100ml/a(10ℓ/a)	全土壌	(25)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

V 4. WOC-02 液 「継」

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 5. MW-851 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	湛水前15～5日	50ml/a (10ℓ/a)	全土壌	(25)
		東 北	●					
		北 陸			湛水前15～7日			
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国						
		四 国						
		九 州						

	処 理 法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 6. SC-224 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	湛水前 1 5 ～ 5 日	40ml/a (1 0 ℓ /a)	全土壌	(2 5)
		東 北	●		湛水前 1 5 ～ 7 日			
		北 陸			湛水前 4 ～ 3 日			
		関東・東山・東海	●					
		近畿・中国	●					
		四 国	●					
		九 州	●					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 7.YF-650 液	茎葉処理	北海道		一年生雑草	湛水前 10～5 日	80～100ml/a (10ℓ/a) <u>展着剤加用</u>	全土壌	(25)
		東 北	○					
		北 陸						
		関東・東山・東海	●		湛水前 15～7 日			
		近畿・中国	●		湛水前 4～3 日			
		四 国	●					
		九 州	●					

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起直播 8. SC-224 液	茎葉処理	北海道	一年生雑草	雑草生育期 播種前6日～播種後7日 (出芽前)	40ml/a(10ℓ/a)	全土壌	(25)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海					
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州		雑草生育期 播種前7日～播種直後			

	処理法	地 域 名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起直播 9.7リットル液	茅葉処理	北海道	全雑草	雑草生育期 播種前30日～5日	50ml/a(5l/a)	全土壌	(25)
		東北					
		北 陸					
		関東・東山・東海	雑草生育期 播種前30日～ 播種後7日(出芽前)	50ml/a(5l/a) 希釈水量2.5l/aでも有効 専用の散布ノズルを用いる 〔関東～九州〕			
		近畿・中国					
		四 国					
		九 州					

	処理法	地 域 名		対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
V 10.MON-8794 液	葉面処理	北海道						
		東 北	○	一年生雑草 イネ科多年生雑草	雑草生育期 耕起前10日以前	30～50ml/a(10ℓ/a) 関東は25～50ml/a(10ℓ/a) 少量散布: 希釈水量、東北、北陸、 関東～東海は1.25～5ℓ/a、 その他地域は2.5～5ℓ/aでも 有効、専用の散布機を使用す る。	全土壌	(25)
		北 陸	○					
		関東・東山・東海	○	一年生雑草	雑草生育期 耕起前20日以前			
		近畿・中国	○					
		四 国	○					
		九 州	○	一年生雑草・シロツメクサ				

処理法	地域名	対象雑草名	処理時期	使用量・製品 (希釈水量)	適用土壌	使用上の注意
不耕起移植 11.7.9リットル液	北海道	移植前全雑草	湛水前5日まで (秋散布可能) 湛水前30～5日	50～100ml/a(5l/a) 50ml/a(5l/a)* *希釈水量2.5l/aでも有効。 専用の散布ノズルを用いる (東北、関東～東海)	全土壌	(25)
	東北					
	北陸					
	関東・東山・東海					
	近畿・中国					
	四国					
	九州					

VII-1 初期一発処理剤

VII-1 1.2は、VII-2の区分にて実施

VII-1 3.DND-950 フロップル「雑」

VII-1 4.DND-950C フロップル「雑」

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マナバ	ホトメ	クサ	ミズ カサ	ヘビ タカ	クサ カ	オモ カ	ヒル シ	漢 薬 類	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 5.HJ-941-1kg 粒	北海道	早	●1.5	●	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前	+3～/t ¹ 1.5L	100 g/a	●	●	●	2	(3) (26) (34)
	東北	早																	
	北陸	早																	
	関東 東山 東海	早																	
	近畿 中国	早	●2	●	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前	+3～/t ¹ 2L		●	●	●	1	
	四国	早	●2	●	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前			●	●	●		
	九州	早	●2	●	●2	●2	●2			●発生期	●前	●再生前				●			
		普																	
		普																	
		普																	
		普																	

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マナバ	ホトメ	クサ	ミズ カサ	ヘビ タカ	クサ カ	オモ カ	ヒル シ	漢 薬 類	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 6.HSV-941-1kg 粒 II-6-(6) を併用	北海道	早	○2	○	○2	○2	○2			○発生期	○前	○*	+3～/t ¹ 2L	100 g/a	●	○	○	2	
	東北	早																	
	北陸	早																	
	関東 東山 東海	早																	
	近畿 中国	早																	
	四国	早																	
	九州	早																	
		普																	
		普																	
		普																	
		普																	
		普																	

処理法	地域名	作期	1/2	一年広葉マツハ	ホトメ	クサリ	ミズカ	ヘリ	クロ	オモ	ヒル	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深	使用上の注意
VII-1 7. KPP-932 7077 ¹ 土壌処理	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○	○	○	○	○	+0~1/2 ¹ 1.5L	50 ml/a	●5	○	○	○	2	均一散布 (関東~東海)
	東北	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	
	北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北)
	関東 東海	早	○1.5	○	○2	●始	○2	○	○	○	○	○			●1	○	○	○		田植同時 散布可能 (東北)
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	水口処理可能 (北海道~近畿)
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1.5	(28) (34)
		早	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1.5	
		早	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	

処理法	地域名	作期	1/2	一年広葉マツハ	ホトメ	クサリ	ミズカ	ヘリ	クロ	オモ	ヒル	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深	使用上の注意
VII-1 8. KPP-932 -1kg 粒	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○	+0~1/2 ¹ 1.5L	100 g/a	●1.5	○	○	○	2	田植同時 散布可能 (東北)
	東北	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		田植同時 散布可能 (東北)
	北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		田植同時 散布可能 (東北)
	関東 東海	早	○1.5	○	○2	●始	○2	○	○	○	○	○			●1	○	○	○		田植同時 散布可能 (東北)
	近畿 中国	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	(28) (34)
	四国	早	○1.5	○	○始	○始	○始	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1.5	
	九州	早	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1.5	
		早	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	
		早	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	
		普	○1.5	○	○2	○	○2	○	○	○	○	○			○	○	○	○	1	

VII-1 9. NBA-074-1kg 粒 「継」

VII-1 10. NBA-075 フロア¹ 「継」

VII-1 11. NBA-076a-1kg 粒 「継」

VII-1 12. NBA-076b-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年広葉マツハ	ホトメ	クサリ	ミズカ	ヘリ	クロ	オモ	ヒル	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深	使用上の注意
VII-1 13. NC-311CG -1kg 粒	北海道	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○	+0~1/2 ¹ 2L	100 g/a	○	○	○	○	2	(26) (28) (38) (40) (42)
	東北	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○	○			○	○	○	○		
	北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		
	関東 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○	1	+0は砂土を 除く
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		田植同時 散布可能 (東北)
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		
		早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		
		早	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2	○	○	○	○			○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	1/2	一年広葉マツハ	ホトメ	クサリ	ミズカ	ヘリ	クロ	オモ	ヒル	藻類	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深	使用上の注意
VII-1 14. NC-311KP ○顆粒水和	北海道	早	●1.5	●	●始		●2	○	○	○	○	○	+0~1/2 ¹ 1.5L	6.6 g/a	●	●	●	●	2	(34) (27)
	東北	早	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		
	北陸	早	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		
	関東 東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●	1	
	近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●	2	
	四国	早	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		
	九州	早	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		
		普	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		
		早	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		
		普	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		
		早	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		
		普	●1.5	●	●始	●始	●始	○	○	○	○	○			●	●	●	●		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ タ・カ	クロ グ・イ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意		
Ⅶ-1 15. NC-311KP -1kg 粒 Ⅱ-6-(5) Ⅱ-6-(6) を併用	土壌処理	北海道	早	○1.5	○	○2	○2					○発生 期	○前 期	再生 前 始	●**	100 g/a	○	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 } { 4 0 }	
		東北	早	○1.5	○	○始	○始	○始					○発生 期	○前 期	再生 前 始		●*	○	○	○	○		1.5
		北陸	早	○1.5	○	○2	○2	○始							再生 前 始		●	○	○	○	○		2
		関東 東山 東海	早	●1.5	●	●始	●始	●始					発生 期	○前 期	再生 前 始		●	●	●	●	●		
		近畿 中国	早	●1.5	●	●始	●始	●2					●発生 期	○前 期	再生 前 始		●	○	○	○	○		1
		四国	早	●1.5	●	●始	●始	●2					●発生 期	○前 期	再生 前 始		●	○	○	○	○		
		九州	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●発生 期	○前 期	再生 前 始		●	○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○始	○始	○始										○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○始	○始	○始										○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○始	○始	○始										○	○	○	○		
			普	○1.5	○	○始	○始	○始										○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ タ・カ	クロ グ・イ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意			
				再生 前 始	○*	+0~+1×2L	50 ml/a	1.5	○	○	○	2	(28) (36) (38) (40) (42)											
VII-1 16. NSK-855 7077 ^g II-6-(7) を併用	土壌処理	北海道	早	○2	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前 期	再生 前 始	○*	50 ml/a	○	○	○	○	2	(28) (36) (38) (40) (42)		
		東北	早	○2	○●	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始	○00**		○	○	○	○				
		北陸	早											再生 前 始										
		関東 東山 東海	早											再生 前 始										
		近畿 中国	早											再生 前 始										
		四国	早											再生 前 始										
		九州	早											再生 前 始										
		普																						
		普																						
		普																						
		普																						
		普																						

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ タ・カ	クロ グ・イ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
VII-1 17. NSK-855- 7077 ^g 粒	土壌処理	北海道											再生 前 始		50 ml/a						{ 3 4 } { 3 8 } { 4 1 } { 4 2 }	
		東北											発生 期	○前 期								
		北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		●	○	○	○	2	水口 河 (北 近畿 〜九 州)
		関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○		
近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○始	○発生 期	○前 期	再生 前 始		○	○	○	○				

クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する（関東～九州）

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネグロ	クリカ	ミズ カ・リ	ヘラ タ・カ	クロ グ・イ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-1 18. SL-970 7077 ^g 粒	北海道	早	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期		±0～/t ⁺ 1.5L	100 ml/a	○	○	○	○	2	{ 3 3 } { 3 4 }
	東北	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期		±0～/t ⁺ 1.5L		○	○	○	○		
	北陸	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期		±3～/t ⁺ 1.5L		○	○	○	○		
	近畿 中国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期		±0～/t ⁺ 1.5L		○	○	○	○	1	
	四国	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○	1	
	九州	早	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○	1	
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○	1.5	
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○		
		普	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期				○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉マツ ハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズヤ フリ	ヘラモ タナ	クログ ワイ	モダナ	ヒルムシ ロ	藻類剥 離	リ	処理時期	使用 量・製 品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	水 減深 cm/d	使用上の 注意
VII-1 19. TDS-888 7077 ^g II-6-(1) II-6-(2) II-6-(6) を併用	土壌 処理	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○再生 前	+0 ノビエ 1.5L	50 ml/a	○	○	○	○	2	(3) (3) (3) (3) (4) (4)
		東北		○1.5	○	○2	○2	○2	○始	●前	●前	○期	○前	○前	●ノビエ ○始		○	○	○	○		水口処理 可能 (北海道、 東北)
		北陸													※ノビエノビエ 2L							田植同時 散布可能 (東北)
		関東 東山 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普																			

※ノビエに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズヤフリ	ヘラモタナ	クログワイ	モダナ	ヒルムシロ	藻類剥離	リ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 20. TDS-888 7077 ^g II-6-(1) II-6-(2) を併用	土壌処理	北海道										○発生	○前	○再生	+0~ ノビエ1.5L (関東~東海 の+0は、早期 の砂壌土を 除く)	50 ml/a						(3) (3) (3) (3) (3) (4)
		東北										○発生	○前	○再生			○	○	○	○	2	水口処理 可能 (北陸~九州)
		北陸		○1.5	○	○2	○始	○2			●始	○期	○前	○再生			○	○	○	○	1.5	田植同時 散布可能 (関東~九州)
		関東 東山 東海	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2		●始	●始	○期 ○期	○前 ○前	○再生 ○再生			○1 ○	○1 ○	○ ○	○ ○	2 2	
		近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始		●始	○期	○期	○前 ○前	○再生 ○再生			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 2	
		四国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始		●始	○期	○期	○前 ○前	○再生 ○再生			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	2 2	
		九州	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2		●前	●前	○発生 ○期	○前 ○前	○再生 ○始	※ノビエ ○始		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1.5 1.5	

※ノビエに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(北陸~東海、九州)

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズヤフリ	ヘラモタナ	クログワイ	モダナ	ヒルムシロ	藻類剥離	リ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 21. TH-913ADS ①	土壌処理	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○再生	+3~ ノビエ1.5L	300 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
		東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生	○前	○再生			○	○	○	○		
		北陸		○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生	○前	○再生			○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 ○期	○前 ○前	○再生 ○再生			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 2	
		近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始				○発生 ○期	○前 ○前	○再生 ○再生			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 2	
		四国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始				○発生 ○期	○前 ○前	○再生 ○再生			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 2	
		九州	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○2 ○2	○2 ○2	○2 ○2				○発生 ○期	○前 ○前	○再生 ○始			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 1.5	

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズヤフリ	ヘラモタナ	クログワイ	モダナ	ヒルムシロ	藻類剥離	リ	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の注意
VII-1 22. TH-913ADS ①-1kg 粒	土壌処理	北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生	○前	○再生	+3~ ノビエ1.5L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28) (34)
		東北		○1.5	○	○2	○2	○始	○始			○発生	○前	○再生			●	●	○	○		
		北陸		○1.5	○	○2	○2	○始	●始			○発生	○前	○再生			○	○	○	○		
		関東 東山 東海	早 普	●1.5 ●1.5	● ●	●始 ●始	●始 ●始	●始 ●始				●発生 ●期	●前 ●前	●再生 ●再生			● ●	● ●	● ●	● ●	1 2	
		近畿 中国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始				○発生 ○期	○前 ○前	○再生 ○再生			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 2	
		四国	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○始 ○始	○始 ○始	○始 ○始				○発生 ○期	○前 ○前	○再生 ○再生			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	1 2	
		九州	早 普	●1.5 ●1.5	● ●	●始 ●始	●始 ●始	●始 ●始				●発生 ●期	●前 ●前	●再生 ●始			● ●	● ●	● ●	● ●	1 1.5	

処理法	地域名	作期	ハ・エ 広葉マツハ	年 イ	タノイ	クリノイ	ミズノイ	ヘラオモ タノイ	クロク ノイ	オモタ ノイ	ヒルムシ ロ	葉類剥 離	処理時期	使用 量製品	砂土 1.5 g/a	壤土	埴土	埴土	減水深 cm/d	使用上の 注意
																				{ 2 3 } { 3 4 } { 3 6 }
Ⅶ-1 23. TH-913HSK -1kg 粒 Ⅱ-6-(8) を併用	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	{ 2 3 } { 3 4 } { 3 6 }
	東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	関東山	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	東海	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	近畿	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	
	中国	普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5		
	四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1		
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5		
	九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1		
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5		

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	年葉マツハ	ネタノイ	クリノイ	ミズノイ	ヘラオモタノイ	クロクノイ	オモタノイ	ヒルムシロ	葉類剥離		処理時期	使用・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意	
Ⅶ-1 24. TH-913ST 7077* Ⅱ-6-(8) を併用	土壌処理	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前	0*	+0~1.5L	50	○	○	○	2	(34)
		東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前	0**		50	○	○	○		(40)
		北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前		*:エノノサヤナク*	50	○	○	○		(41)
		関東山	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前		**:(1)ス・イ	50	○	○	○	1	田格同時
		東海	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前		2)コナク・ラ	50	○	○	○	2	敷布可能
		近畿	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前		発生始	50	○	○	○	1	(東北・東海、九州)
		中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前			50	○	○	○	1.5	水口処理
		四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前			50	○	○	○	1	可能(全域)
		九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前			50	○	○	○	1.5	
			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前			50	○	○	○		
			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前			50	○	○	○		
			早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再前			50	○	○	○		

Ⅶ-1 25. TH-951 フロア*ル 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ネタノイ	クリノイ	ミズノイ	ヘラオモタノイ	クロクノイ	オモタノイ	ヒルムシロ	葉類剥離	処理時期	使用・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅶ-1 26. YH-570 7077* Ⅱ-6-(8) を併用	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	関東山	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	東海	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	近畿	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年広葉マツハ・イ	ネタノイ	クリノイ	ミズノイ	ヘラオモタノイ	クロクノイ	オモタノイ	ヒルムシロ	葉類剥離	処理時期	使用・製品	砂土	壤土	埴土	埴土	埴土	減水深cm/d	使用上の注意
Ⅶ-1 27. SL-498 -1kg 粒	北海道	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(34)
	東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	北陸	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	関東山	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	東海	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	近畿	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1
	中国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5
	四国	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1
	九州	早	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5
		普	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.5

Ⅶ-2 初・中期一発処理剤

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カマ フリ	ヘラ モ タ	クロ グ リ	オモ カ	ヒル ム シ ロ	藻 類 剥 離	チ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-2 1. AC-014E -1kg 粒	北海道	早	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生	○前	○再生	+5~/t ² 2.5L	100 g/a	○	○	○	2	(28) (34)
	東北	早	○2	○	○2	●2	○2		○期		○前	+5~/t ² 2L		○	○	○	1.5	
	北陸	早	○2	○	○2	○2	○2				○前			○	○	○	2	
	関東 東山 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生	○前	○再生	+5~/t ² 2.5L		○	○	○		
	近畿 中国	早	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生	○前	●再生			○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○前			○	○	○		
	四国	早	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生	○前	●再生			○	○	○		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2				○前			○	○	○		
	九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2									●		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2									○		

Ⅶ-2 2. AC-014F-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カマ フリ	ヘラ モ タ	クロ グ リ	オモ カ	ヒル ム シ ロ	藻 類 剥 離	チ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-2 3. AGH-925 -1kg 粒	北海道	早									○再生		100 g/a					(34) (41)
	東北	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●前	+5~/t ² 2.5L			●	●	1.5	
	北陸	早	●2.5	●	●2	●2	●2				●前			●	●	●	2	
	関東 東山 東海	早	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生	●前	●再生					●		
	近畿 中国	早	●3	●	●2	●2	●2		●発生	●前	●始	+5~/t ² 3L			●	●	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○期	○前	○再生			○	○	○	2	
	四国	早	●3	●	●2	●2	●2		●発生	●前	●始				●	●	1	
		普	○3	○	○2	○2	○2		○期	○前	○始			○	○	○	2	
	九州	早	●3	●	●2	●2	●2		●発生	●前				●	●	●		
		普	○3	○	○2	○2	○2		○期					●	●	○		

処理法	地域名	作期	1/2	一年 広葉 マツハ	ミズ カマ フリ	ヘラ モ タ	クロ グ リ	オモ カ	ヒル ム シ ロ	藻 類 剥 離	チ リ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-2 4. CH-904 7077 ^μ	北海道	早	●3	●	●2	●2	●2		●発生	●前	●再生	+5~/t ² 3L	50 ml/a			●	●	2
	東北	早	●3	●	●2	●2	●2		●期	●前	●前					●	●	1.5
	北陸	早									●始							
	関東 東山 東海	早																
	近畿 中国	早																
		普																
	四国	早																
		普																
	九州	早																
		普																

	処理法	地域名	作期	1/2 エ	一年 広葉 マツハ	ミズ カ フリ	ヘラ モ タ	クロ グ リ	オモ カ	ヒル ム シ ロ	藻 類 剥 離	チリ 再生 前 始	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減 水 深 cm/d	使用上の 注意	
Ⅶ-2 5. CH-904D 7077 ^μ	葉菜土壌処理	北海道												50 ml/a							
		東北																			
		北陸	● 3	●	● 2	● 2	● 2	● 2				● 前	● 始	+3〜/t ² 3L		●	●	●	●	2	
		関東 東山 東海	早 普																		
		近畿 中国	早 普																		
		四国	早 普																		
		九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カヤ	ハナモ タカ	クロガ ワ	オモガ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 6. CH-904D -1kg 粒	北海道														100 g/a						{ 2 8 } { 3 4 }
	東北																				
	北陸		● 3	●	● 2	● 2	● 2							+5~7/13L				● ●	2		
	関東 東海	早										発生期	再生 前	+5~7/12.5L				● ●			
		普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前				● ●				
	近畿 中国	早										発生期	再生 前	+5~7/13L				● ●			
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前				● ●				
	四国	早										発生期	再生 前				● ●				
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前				● ●				
	九州	早										発生期					● ●				
		普	● 3	●	● 2	● 2	● 2					● 前					● ●				

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カヤ	ハナモ タカ	クロガ ワ	オモガ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 7. CH-904K -1kg 粒 II-6-(5) II-6-(6) II-6-(8) を併用	北海道		○ 3	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生期	○ 前	○ 再生 前	+5~7/13L	100 g/a	● 1.5	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 6 } { 4 0 }
	東北		○ 3	○	○ 2	● 2	○ 2	○ 2			○ 発生期	● 前	○ 前			●	○	○			
	北陸												● 前								
	関東 東海	早											● 前								
		普											● 前								
	近畿 中国	早											● 前								
		普											● 前								
	四国	早											● 前								
		普											● 前								
	九州	早											● 前								
		普											● 前								

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カヤ	ハナモ タカ	クロガ ワ	オモガ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 8. CH-906D -1kg 粒	北海道														100 g/a						{ 2 8 } { 3 4 }
	東北																				
	北陸		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					● 前	● 前	+5~7/12.5L		●	●	○	○	2	
	関東 東海	早										発生期	再生 前								
		普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前			●	●	●	●		
	近畿 中国	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前								
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					● 前	● 前			○	○	○	○	1	
	四国	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前								
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2					● 前	● 前			○	○	○	○		
	九州	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前			●	●	●	●	2	
		普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2					● 前	● 前			●	●	●	●		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カヤ	ハナモ タカ	クロガ ワ	オモガ カ	ヒルム シ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 9. CH-907 -1kg 粒	北海道		○ 2.5	○	○ 2	○ 2		○ 2			○ 発生期	○ 前	○ 再生 前	+5~7/12.5L	100 g/a	● 1.5	○	○	○	2	{ 3 4 } { 4 1 }
	東北		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2			○ 発生期		○ 前			●	○	○			
	北陸		○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2					○ 前			○	○	○			
	関東 東海	早	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				● 発生期	● 前	● 再生 前			●	●	●	●		
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 前			●	●	○			
	近畿 中国	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 前								
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 前			○	○	○	○	1	
	四国	早	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 前			○	○	○	○	2	
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2				○ 発生期	○ 前	○ 前			○	○	○	○		
	九州	早											○ 再生 前							1	
		普	○ 2.5	○	○ 2	○ 2	○ 2						○ 前				○	○			

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホリイ	ウリイ	ミヤカヤ	ヘラタカ	クロガ	モダ	ヒルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 10. CH-908 -1kg 粒	北海道		○	○	○	○	○	○			○発生期	○前	再生前	100g/a	●	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40) (42)
	東北		○	○	○	○	○	○			●発生期	○前	●再生前		○	○	○	○	1	
	北陸		○2.5	○	○	○	○	○				○前	○始	+5〜/t×2.5L	●	●	○	○	2	
	関東	早	●2.5	●	●	●	●	●			●発生期	●前	再生前				●	●	1	
	東海	普	○2.5	○	○	○	○	○			●発生期	●前	●再生前				○	○		
	近畿	早	●2.5	●	●	●	●	●			●発生期	●前	○始				○	○		
	中国	普	○2.5	○	○	○	○	○			○期		再生前				○	○		
	四国	早	●2.5	●	●	●	●	●			●発生期	●前	●再生前				○	○		
		普	○2.5	○	○	○	○	○			○期		○始				○	○		
	九州	早	●2.5	●	●	●	●	●			●発生期						○	○		
		普	○2.5	○	○	○	○	○									○	○		

VII-2 11. DKH-951-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホリイ	ウリイ	ミヤカヤ	ヘラタカ	クロガ	モダ	ヒルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 12. DPX-47MN -1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道		○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	再生前	100g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (38) (40) (42)
	東北		○2.5	○	○	○	○	○	○	●前	●前	○期	○前	00**	●	○	○	○	1	
	北陸		○2.5	○	○	○	○	○					○始				○	○	2	
	関東	早	○2.5	○	○	○	○	○				○前		*:エゾノササカク 2L ※:1)シズイ 発生期-取3cm 2)コキキカラ 発生始			○	○	1	
	東海	普										○前	再生前				○	○	1.5	
	近畿	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前				○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○	○	○	○			○期	○前	○始				○	○	1	
	四国	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○始				○	○	1.5	
		普	○2.5	○	○	○	○	○									○	○	1	
	九州	早									○発生期						○	○	1	
		普	○2.5	○	○	○	○	○			○期						○	○		

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホリイ	ウリイ	ミヤカヤ	ヘラタカ	クロガ	モダ	ヒルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 13. DPX-47ND -1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) II-6-(3) II-6-(4) を併用	北海道		○3	○	○	○	○	○			○発生期	○前	再生前	100g/a	●	○	○	○	2	(28) (34) (36) (38) (40) (42)
	東北		○3	○	○	○	○	○	○	●前	●前	○期	○前	00**	●	○	○	○		
	北陸		○3	○	○	○	○	○				○前	○始				○	○		
	関東	早	○3	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前	*:エゾノササカク 2L ※:1)シズイ 発生期-取3cm 2)コキキカラ 発生始	●	○	○	○		
	東海	普	○3	○	○	○	○	○			○期	○前	○再生前		●	●	○	○		
	近畿	早	○3	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○始		●	○	○	○	1	
	中国	普	○3	○	○	○	○	○	●始	●始	○期	○前	○始		●	○	○	○	1.5	
	四国	早	○3	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前		●	○	○	○	1	
		普	○3	○	○	○	○	○	●始	●始	○期	○前	○再生前		●	○	○	○	1.5	
	九州	早	●3	●	●	●	●	●			●発生期	●前	○始		●	●	●	●	2	
		普	○3	○	○	○	○	○			○期	○前	○始		●	○	○	○		

クロガに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
 ヘラタカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年広葉マツハイ	ホリイ	ウリイ	ミヤカヤ	ヘラタカ	クロガ	モダ	ヒルシ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂土	塩土	塩土	塩土	減水深cm/d	使用上の注意
VII-2 14. DPX-47SC -1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	北海道		○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	再生前	100g/a	○	○	○	○	2	(28) (34) (36) (38) (40) (42)
	東北		○2.5	○	○	○	○	○	○	●前	●前	○期	○前	00**	●	●	○	○		
	北陸		○2.5	○	○	○	○	○				○前	○始				○	○		
	関東	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前	*:エゾノササカク 2L ※:1)シズイ 発生期-取3cm 2)コキキカラ 発生始			○	○		
	東海	普	○2.5	○	○	○	○	○			○期	○前	○再生前		○	○	○	○		
	近畿	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○始				○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○	○	○	○	●始	●始	○期	○前	○始		○	○	○	○	1.5	
	四国	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○	1	
		普	○2.5	○	○	○	○	○	●始	●始	○期	○前	○再生前		○	○	○	○	1.5	
	九州	早									○発生期		○始						1	
		普	○2.5	○	○	○	○	○					○始		○	○	○	○		

クロガに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)
 ヘラタカに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北)

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラモ タ	クロガ イ	オモガ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 15. DPX-84MN -1kg 粒 II-6-(1) を併用	茎葉 土壌 処理	北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○前	○再 生前	○*	+5~1/2.5L	100 g/a	○	○	○	2	{28 36 40 42}
		東北		○2.5	○	○2	○2	○2	●前		○発生 期	○前	○再 生前	○00**			○	○	○			
		北陸																				
		関東 東海	早																			
		近畿 中国	早																			
		四国	早																			
		九州	早																			
			普																			
			早																			
			普																			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミヅ カヤ	ヘラモ タナ	クロガ イ	オモガ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 16. DPX-84MN ①-1kg 粒 II-6-(1) II-6-(2) II-6-(8) を併用	茎葉率10% 粒処理	北海道													100 g/a						$\begin{pmatrix} 28 \\ 34 \\ 36 \\ 38 \\ 42 \end{pmatrix}$	
		東北																				
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			●発生	○前		+5~ 1/2.5L		○	○	○	○		2
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●発生	○前	○再生 前			●	●	○	○		1
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生 前			○	○	○	○		2
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●発生	○前	○再生 前		○	○		○	○	2				
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○発生	○前	○再生 前		○	○	○	○	1		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●発生	○前	○再生 前		○	○	○	○	2					
		九州	早	●2.5	●	●2	●2	●2				○発生	○前	○再生 前		○	○	○	○	1.5		
		普	○2.5	○	○2	○2	○2		●発生	○前	○再生 前		○	○	○	○	2					

20774に有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東〜九州)
20774に有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東〜東海)

VII-2 17. DPX-84ND 70774 「継」

VII-2 18. DPX-84ND 70774 「継」

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラモ タナ	クロガ イ	オモガ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	サリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 19. DPX-84SC ①-1kg 粒	養葉率十種処理	北海道										再生前 ○始	+5〜 1/2.5L *ケサレム 始〜本葉 展開期	100 g/a						(28) (34) (36) (38) (42)		
		東北									発生期	○*										
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○	○前		○再生前 ○始		○	○	○	○	2		
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2			●発生	●前		○再生前 ○始		●1	○	○	○			
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○発生期		○前	○再生前 ○始		○	○	○	○	1	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○発生期		○前	○再生前 ○始		○	○	○	○	2	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○発生期		○前	○再生前 ○始		○	○	○	○	1	
			早	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○発生期		○前	○再生前 ○始		○	○	○	○	2	
			早	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○発生期		○前	○再生前 ○始		○	○	○	○	1	
			早	○2.5	○	○2	○2	○2			○始	○発生期		○前	○再生前 ○始		○	○	○	○	1.5	

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤ	ヘラモ タナ	クロガ イ	オモガ ナ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意		
VII-2 20. DPX-84TD ①-1kg 粒	喜葉菜土壌処理	北海道											再生 前		100 g/a						(26) (34) (36) (38)		
		東北											再生 前										
		北陸		○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始	○前	○始	○*	+5~ 1/2.5L		○	○	○	○	2		
		関東 東海	早	○2.5	○	○2	○2	○2				○始	○前	○再 生 前			○	○	○				
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○始	○前	○再 生 前			○	○	○				
		近中 畿国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●	○前	●	○再 生 前			○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○	○始			○	○	○			
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●	○前	●	○再 生 前			○	○	○	○	1.5	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○	○始			○	○	○			
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2				●	○前	●	○再 生 前			○	○	○	○	1.5	
	普	○2.5	○	○2	○2	○2				○	○前	○	○始			○	○	○					

処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 21. HJ-942 -1kg 粒	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5~1/t*2.5L	100 g/a			●	●	2	
	東北																				
	北陸																				
	関東 東海	早 普																			
	近畿 中国	早 普																			
	四国	早 普																			
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 22. HJ-943 -1kg 粒	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5~1/t*2.5L	100 g/a			●	●	2	(28)
	東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2											●	●	1.5	(34)
	北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●前	●始					●	●	1	
	関東 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生 期	●再生 前					●	●		
	近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2						●前	●始				●	●		
	四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2						●前	●再生 前				●	●		
	九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2						●	●始				●	●	1.5	

処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 23. HJ-946 -1kg 粒	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前	+5~1/t*2.5L	100 g/a			●	●	2	(28)
	東北																				
	北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●前	●始					●	●	1	
	関東 東海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2											●	●	2	
	近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前				●	●	1	
	四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●発生 期	●前	●再生 前				●	●		
	九州	早 普											●再生 前	●始							

処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリガ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 25. KUH-883 -1kg 粒 II-6-(2) を併用	北海道	○2	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前	+0~1/t*2L	100 g/a	○	○	○	○	2	(28)
	東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○始	○期	○前	○前	○始	+0~1/t*2.5L	100 g/a	○	○	○	○		(38)
	北陸																				(42)
	関東 東海	早 普																			北海道は +5~
	近畿 中国	早 普																			東北の 砂土及び 堆土は+5~
	四国	早 普																			田植同時 散布可能 (東北の 堆土)
	九州	早 普																			

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ナリ	ミズ ナリ	ハナ ナリ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	藻類 剥離	再生 前	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の
																			注意
VII-2 26. KUH-883D -1kg 粒 莖葉茶土壌 処理	北海道								発生 期	再生 前			100 g/a						(28) (34) (41)
	東北								発生 期	再生 前									砂塩土は15～(近畿～四国以外)の地域
	北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始	○前	○始	+0～/t°x2.5L		○	○	○	○	2	砂塩土は15～(近畿～四国)	
	関東	早	○2.5	○	○2	○2	○2		●発生 期	●前	○再生 前				○	○	○		砂塩土は15～(近畿～四国)
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○始			○	○	○			田植同時散布可能(関東～東海、九州)
	近畿	早	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○始					○	○	1	
	中国	普	○2.5	○	○2	○2	○2		●発生 期	○前	○			○	○	○	1.5		
		早	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○再生 前					○	○	1	
	四国	普	○2.5	○	○2	○2	○2		●発生 期	○前	○再生 前			○	○	○	1.5		
		早	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○								
	九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○始			○	○	○	○	2	
		普	○2.5	○	○2	○2	○始		○前	○前				○	○	○	○		

処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ナリ	ミズ ナリ	ハナ ナリ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	藻類 剥離	再生 前	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 27. KUH-931 -1kg 粒 II-6-(6) を併用 莖葉茶土壌処理	北海道		○3	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	●*	+5～/t°x3L	100 g/a	●	○	○	○	2	(28) (34)
	東北		○3	○	○2	○2	○2	○2	○発生 期	○前	●*	*:イソノササキ グサ 2L		○	○	○	○		
	北陸		○3	○	○2	○2	○2	○2		○前	○始			○	○	○			
	関東	早	○3	○	○2	○2	○2		発生 期	○前	○再生 前			○	○	○			
	東海	普	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○始			○	○	○			
	近畿	早	○3	○	○2	○2	○2				○再生 前							1	
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2				○				○	○			
		早									○再生 前								
	四国	普	○3	○	○2	○2	○2				○始				○	○			
		早									○								
	九州	普	○3	○	○2	○2	○2		○前					○	○	○			
		早																	

処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ナリ	ミズ ナリ	ハナ ナリ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	藻類 剥離	再生 前	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 28. KUH-936B -1kg 粒 莖葉茶土壌処理	北海道												100 g/a						(28) (34)
	東北																		
	北陸		○3	○	○2	○2	○2	●2		○前		+5～/t°x3L		○	○	○	○	2	
	関東	早	○3	○	○2	○2	○2		発生 期	○前	○再生 前			○	○	○			
	東海	普	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○始			○	○	○			
	近畿	早	●3	●	●2	●2	●2		●発生 期	●前	○			●	●	●	1		
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2			○前	○			●	○	○	2		
		早	●3	●	●2	●2	●2		●発生 期	●前	●			●	●	●	1		
	四国	普	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○再生 前			●	○	○	2		
		早	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○			○	○	○	1		
	九州	普	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○始			○	○	○	1.5		
		早	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○			○	○	○			

処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハ	ナリ	ミズ ナリ	ハナ ナリ	クロ ナリ	オモ ナリ	ヒル シロ	藻類 剥離	再生 前	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 29. KUH-936C -1kg 粒 莖葉茶土壌処理	北海道												100 g/a						(28) (34)
	東北																		
	北陸		○3	○	○2	○2	○2	○2		○前		+5～/t°x3L		○	○	○	○	2	
	関東	早	●2.5	●	●2	●2	●2		●発生 期	●前	●再生 前					●		1	
	東海	普	○2.5	○	○2	○2	○2		○発生 期	○前	○	+5～/t°x2.5L		○	○	○	○	2	
	近畿	早									○再生 前								
	中国	普	○3	○	○2	○2	○2				○	+5～/t°x3L		○	○	○	1.5		
		早									○再生 前								
	四国	普	○3	○	○2	○2	○2				○始			○	○	○			
		早									○			○	○	○			
	九州	普	○3	○	○2	○2	○2		○発生 期					○	○	○	1		
		早							○発生 期					○	○	○			

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ ガ	オモ ガ	ヒル ム	藻 類	類 腐	再 生	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 30. KUH-951 -1kg 粒	茎葉 土壌 処理	北海道														100 g/a						
		東北	● 3	●	● 2	● 2	● 2	● 2			● 発生期			● 再生前 始	+ 5 ~ / t × 13L				● ●	1.5		
		北陸																				
		関東 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普																			
		四国	早 普																			
		九州	早 普																			

VII-2 31. KUH-952-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ ガ	オモ ガ	ヒル ム	藻 類	類 腐	再 生	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 32. KUH-956 -1kg 粒	茎葉 土壌 処理	北海道														100 g/a						
		東北																				
		北陸																				
		関東 東海	早 普																			
		近畿 中国	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2			● 発生期			● 再生前 始	+ 5 ~ / t × 13L		●	●	● ●	2		
		四国	早 普	● 3	●	● 2	● 2	● 2			● 発生期			● 再生前 始			●	●	● ●			
		九州	早 普											● 再生前 始								

VII-2 33. MK-243D フロアブル 「継」

VII-2 34. MK-243D フロアブル 「継」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタル	クリ	ミズ カヤ	ヘラ タ	クロ ガ	オモ ガ	ヒル ム	藻 類	類 腐	再 生	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	植 土	植 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 35. MK-243D -1kg 粒	茎葉 土壌 処理	北海道														100 g/a						{ 3 4 } { 4 1 }
		東北																				
		北陸	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2							● 再生前 始	+ 5 ~ / t × 2.5L			● ●	● ●	2		
		関東 東海	早 普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2			● 発生期	● 前		● 再生前 始				● ●	● ●			
		近畿 中国	早 普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				● 前		● 再生前 始				● ●	● ●	1		
		四国	早 普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2				● 前		● 再生前 始				● ●	● ●			
		九州	早 普	● 2.5	●	● 2	● 2	● 2			● 発生期	● 前		● 再生前 始			●	● ●	1.5			

VII-2 36. NK-243DS -1kg 粒	処理法	地域名	作期	ハ・エ	広葉 マツハ・イ	ホハ・イ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ハラオモ タ・カ	クロガ ワ・イ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ マ リ サ
---------------------------------	-----	-----	----	-----	-------------	------	------	-----------------	-------------	------------	----------	-----------	----------	---

VII-2 37. NBA-071-1kg 粒 「継」

VII-2 38. NBA-072-1kg 粒 「継」

VII-2 39. NBA-073-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホハ・イ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ハ・エ タ・カ	クロ ワ・イ	モダ カ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 40. NBA-941 -1kg 粒	千葉県 環境処理	北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前	●再生 前	+7~ハ・エ3L	100 g/a			●	●	2	(28) (34)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期		●再生 前	+7~ハ・エ2.5L				●	●	1.5	
		北陸	●3	●	●2	●2	●2					●前	●始	+7~ハ・エ3L				●	●	2	
		関東 東山	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期		●再生 前	+7~ハ・エ2.5L					●	●	
		近畿 中国	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●始					●	●		
		早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●始								
		四国	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前					●	●		
		九州	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期		●再生 前					●	●		
		早 普	●2.5	●	●2	●2	●2						●始								
		早 普	●2.5	●	●2	●2	●2						●始								

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホハ・イ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ハ・エ タ・カ	クロ ワ・イ	モダ カ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 41. NBA-942a -1kg 粒	千葉県 環境処理	北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生 期	●前	●再生 前	+7~ハ・エ3L	100 g/a			●	●	2	(28)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期		●再生 前	+7~ハ・エ2.5L				●	●	1.5	
		北陸											●始								
		関東 東山																			
		近畿 中国																			
		早 普																			
		四国																			
		九州																			
		早 普																			
		早 普																			

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マハ・イ	ホハ・イ	クリカワ	ミズ カ・ヤ フリ	ハ・エ タ・カ	クロ ワ・イ	モダ カ	ヒル ムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 42. NBA-942b -1kg 粒	千葉県 環境処理	北海道													100 g/a						(28)
		東北																			
		北陸	●3	●	●2	●2	●2	●2				●前		+7~ハ・エ3L			●	●	●	2	
		関東 東山	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前				●	●	●		
		近畿 中国	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●始	+7~ハ・エ2.5L			●	●	●		
		早 普	●2.5	●	●2	●2	●2					●前	●始								
		四国	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前				●	●	●		
		九州	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期		●再生 前				●	●	●		
		早 普											●始								
		早 普											●始								

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マハイ	ネキルイ	ワリカワ	ミズ ツリ	ハラモ タカ	クロク ワ	オモク カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	ヒリ	再生 前	再生 後	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 43. NBA-943 -1kg 粒	千葉県 千葉処理	北海道	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後	+7~1/2°13L	100 g/a			●	●	●	2	(28)
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後	+7~1/2°12.5L				●	●	●	1.5	(34)
		北陸	●3	●	●2	●2	●2	●2				●前	●前	●前	●前	+7~1/2°13L				●	●	●	1	
		関東 東山 東海	早 普	●2.5 ●	●	●2 ●	●2 ●	●2 ●			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後	+7~1/2°12.5L		●	●	●	●	●	2	
		近畿 中国	早 普	●2.5 ●	●	●2 ●	●2 ●	●2 ●			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後			●	●	●	●	●		
		四国	早 普	●2.5 ●	●	●2 ●	●2 ●	●2 ●			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後			●	●	●	●	●		
		九州	早 普	●3 ●	●	●2 ●	●2 ●	●2 ●			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後	+7~1/2°13L				●	●	●	1	

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マハイ	ネキルイ	ワリカワ	ミズ ツリ	ハラモ タカ	クロク ワ	オモク カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	ヒリ	再生 前	再生 後	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 44. NC-311DCI -1kg 粒	千葉県 千葉処理	北海道	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前	○再生 前	○再生 後	+5~1/2°13L	100 g/a	1.5	○	○	○	○	2	(28)
		東北	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後			●	●	●	●	●		(34)
		北陸	●3	●	●2	●2	●2	●2				●前	●前	●前	●前			●	●	●	●	●		
		関東 東山 東海	早 普	●3 ○	●	●2 ○	●2 ○	●2 ○			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後			●	●	○	○	○	1	
		近畿 中国	早 普	●3 ○	●	●2 ○	●2 ○	●2 ○			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後			●	●	○	○	○	2	
		四国	早 普	●3 ○	●	●2 ○	●2 ○	●2 ○			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後			●	●	○	○	○	1	
		九州	早 普	●3 ○	●	●2 ○	●2 ○	●2 ○			●発生 期	●前	●再生 前	●再生 前	●再生 後			●	●	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マハイ	ネキルイ	ワリカワ	ミズ ツリ	ハラモ タカ	クロク ワ	オモク カ	ヒルム シロ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 45. NC-311BW 粒 II-6-(1) II-6-(2) を併用	千葉県 千葉処理	北海道	早	○2.5	○	○	○2		○	○2		○	発生期	○前	再生前	○*	+5~1/2°12.5L	100 g/a	1.5	○	○	○	2	(28)	
		東北	早	○2.5	○	○	○2	●	○2	○2	●	○前	●	前	○発生期	○前	○**			○	○	○	1.5	(34)	
		北陸	早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2		○	○2	○2	○	始	○	*:1/2°/ササキ 2L **: 3cm		○	○	○	○	2	(40)
		関東 東山 東海	早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2			●	発生期	○前	○	再生前			○	○	○	○		関東～東海の 早期の塩土は +5~1/2°12L
		早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2		●	始	●	始	○	発生期	○前	○		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2			●	発生期	○前	○	再生前			○	○	○	○	1	
		早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2		●	始	●	始	○	発生期	○前	○		○	○	○	○	1.5	
		四国	早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2			○	発生期	○前	○	再生前			○	○	○	○	1	
		早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2		●	始	●	始	○	発生期	○前	○		○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2			○	発生期	○前	○	再生前			○	○	○	○	1	近畿～四国の 塩土は +5~1/2°12L
早	○2.5	○	○	○2	○	○2	○2		●	前	●	前	○	発生期	○	●		○	○	○	○	1.5			

ワリカワに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北、関東～九州)
ネキルイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(東北～東海、九州)

処理法	地域名	作期	1/2エ	一年 広葉 マハイ	ネキルイ	ワリカワ	ミズ ツリ	ハラモ タカ	クロク ワ	オモク カ	ヒルム シロ	藻類 剥離	ヒリ	再生 前	再生 後	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII-2 46. NC-311SC Q-1kg 粒	千葉県 千葉処理	北海道	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前	○再生 前	○再生 後	+5~1/2°12.5L	100 g/a	1.5	○	○	○	○	2	(28)
		東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○前	○再生 前	○再生 前	○再生 後	+5~1/2°12.5L			○	○	○	○		(34)
		北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○前	○前	○前	○前			○	○	○	○			(40)
		関東 東山 東海	早 普	○2.5 ○	○	○2 ○	○2 ○	○2 ○					○再生 前	○再生 前	○再生 後	*:1/2°/ササキ 2L **: 3cm		○	○	○	○			関東～東海の 早期の塩土は +5~1/2°12L
		近畿 中国	早 普	○2.5 ○	○	○2 ○	○2 ○	○2 ○					○再生 前	○再生 前	○再生 後			○	○	○	○			近畿～四国の 塩土は +5~1/2°12L
		四国	早 普	○2.5 ○	○	○2 ○	○2 ○	○2 ○					○再生 前	○再生 前	○再生 後			○	○	○	○			
		九州	早 普	○2.5 ○	○	○2 ○	○2 ○	○2 ○					○再生 前	○再生 前	○再生 後			○	○	○	○			
																		○	○	○	○			
																		○	○	○	○			
																		○	○	○	○			

VII-2 48. NC-339 顆粒水和 「繼」

	処理方法	地域名	作期	ノヒエ	一年 広葉 マツノ イ	ナナノ イ	クリノ イ	ミズ グサ イ	ヘチ マ イ	クロ グサ イ	モミ イ	ヒルムシ ロ	藻類 菌類	セリ	処理時期	使用 量 g/a	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	水 減 土 cm/d	使用上の 注意	
VII-2 51. NC-365 -1kg 粒	喜楽茶畑 農処理	北海道		●	2.5	●	●	2	●	2		●	発生期	●	前	再生前↑			●	●	2	(28) (34)	
		東北		●	2.5	●	●	2	●	2	●	2	●	発生期	●	前			●	●	1.5		
		北陸		●	2.5	●	●	2	●	2	●	2				●	始			●	●		2
		関東 東山 海	早											発生期	●	前	再生前↑						
		普	●	2.5	●	●	2	●	2	●	2		●	発生期	●	前			●	●	●		
		近 中 国	早													●	前	↑					
		普	●	2.5	●	●	2	●	2	●	2			●	発生期	●	前		●	●	●		
		四 国	早													●	前	↑		●	●		●
		普	●	2.5	●	●	2	●	2	●	2			●	発生期	●	前		●	●	●		
		九 州	早												発生期	●	前	↑			●		●
普	●	2.5	●	●	2	●	2				●	発生期	●	前									

	処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロダ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 52. NC-366 -1kg 粒	農業 土壌 処理	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前	+5~1/10 ² 5L	100 g/a			●●	●●	2	{ 2 8 } 3 4 }
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●再生 前					●●	●●	1.5	
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2						●再生 前			●	●	●●	●●	2	
		関東 東山 海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前				●	●●	●●		
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前			●	●	●●	●●		
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前			●	●	●●	●●		
		九州	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前					●●	●●	1	

VII-2 53. NC-367-1kg 粒 「継」

VII-2 54. NC-368-1kg 粒 「継」

	処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロダ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 55. NCH-903 DEH-1kg 粒	農業 土壌 処理	北海道	○3	○	○2	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前	+5~1/10 ² 5L	100 g/a	1.5	●	○	○	○	{ 2 8 } 3 4 }
		東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	○2			○発生 期	●前	○再生 前			●	○	○	○		
		北陸	○3	○	○2	○2	○2	○2	○2				●前	●始			●	●	○	○		
		関東 東山 海	早 普	○3	○	○2	○2	○2				○発生 期	○前	○再生 前				○	○	○		
		近畿 中国	早 普	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	●再生 前				●	●	●	1	
			普	○3	○	○2	○2	○2				●発生 期	●前	○再生 前				○	○	○		
		四国	早 普	●3	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前	○再生 前				●	●	●		
			普	○3	○	○2	○2	○2				●発生 期	●前	○始				○	○	○		
		九州	早 普	○3	○	○2		○2				○発生 期	○前						○	○		

VII-2 56. NSX-858 フロアブル 「継」

VII-2 57. NSX-858D フロアブル 「継」

	処理法	地域名	作期	1/10	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カヤ フリ	ヘラオモ タカ	クロダ ワ	オモタ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	セリ	処理時期	使用 量 製品	砂 土	塩 土	塩 土	塩 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 58. NTN-831 -1kg 粒	農業 土壌 処理	北海道	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●前		+5~1/10 ² 5L	100 g/a		●	●	●	●	{ 2 8 } 3 4 }
		東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2									●	●	●	1	
		北陸	●2.5	●	●2	●2	●2	●2	●2										●●			
		関東 東山 海	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前						●●	●●	1.5	
		近畿 中国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前				●	●	●●	●●	2	
			普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前					●	●	●●		
		四国	早 普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前				●	●	●●	●●		
			普	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●前				●	●	●●	●●		
		九州	早 普	●2.5	●	●2		●2				●発生 期	●前				●	●	●●	●●	1	
			普	●2.5	●	●2		●2				●発生 期	●前				●	●	●●	●●		

VII-2 59. RYH-102-1kg 粒 「継」

VII-2 60. RYH-103 フロアブル 「継」

	処理法	地域名	作期	一年 広葉 マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズ カヤフリ	ヘラオモ ダカ	クロダ クイ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類剥 離	処理時期	使用 量・製 品	砂 壌土	埴 土	埴土	埴土	減深 cm/d	使用上の 注意				
VII-2 61. TH-913ADE -1kg 粒 II-6-(6) を併用	葉菜等・糠処理	北海道	早	○	○	○	○	○	○		○発生期	○前	○再生前	●*	+ 5 ~ /t ² 13 L	100 g/a	○	○	○	○	2	{ 2 8 } { 3 4 }		
		東北	早	○	○	○	○	○	○	○	○発生期	○前	○前				○	●	○	○	○			
		北陸	早	○	○	○	○	○	○	○		○前	○始				○	○	○	○	○			
		関東 東山	早	○	○	○	○	○	○			○発生期	○前				○前	○	○	○	○		○	
		東海	普	○	○	○	○	○	○			○発生期	○前				○前	○	○	○	○		○	
		近畿 中国	早	○	○	○	○	○	○			○発生期	○前				○始	○	●	○	○		○	1
			普	○	○	○	○	○	○			○発生期	○前				○再生前	○	○	○	○		○	2
		四国	早	○	○	○	○	○	○			○発生期	○前				○前	○	●	○	○		○	1
			普	○	○	○	○	○	○	○			○発生期				○前	○始	○	○	○		○	2
		九州	早	○	○	○	○	○	○			○発生期	○前				○再生前	○	○	○	○		○	1.5
			普	○	○	○	○	○	○			○発生期	○前				○前	○	●	○	○		○	

	処理法	地域名	作期	一年広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クロダクイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減深cm/d	使用上の注意	
VII-2 62. TH-913SN II-6-(8) を併用	薬と養分環境	北海道	早	○2.5	○	○2	○2	○			○発生期	○前	○再生前	+5~ 12.5 L	100 g/a	○	○	○	○	2	{28} {34} {40}
		東北	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○再生前	***:1)シズイ 2)コササカ 3)コササカ グ ² 2L	○	○	○	○	○	
		北陸	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○始		○	○	○	○	○	
		関東 東山	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○	○	
		近畿 中国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○	○	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○始		○	○	○	○	○	
		四国	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○再生前	*藻類のみ	○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○始		○	○	○	○	1.5	
		九州	早	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○再生前		○	○	○	○	1	
			普	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○前	○始		○	○	○	○	1.5	
																○	○	○	○		
																○	○	○	○		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉マツハイ	ホタルイ	ワリカワ	ミズ ワリ	ヘラオモ ダカ	クロダ クイ	オモダ カ	ヒルム シロ	藻類剥 離	処理時期	使用 量・品	砂 壌土	埴 土	埴 土	減 深	水 深	使用上の 注意		
VII-2 63. TH-913SC II-6-(8) を併用	茎葉土壌処理	北海道	早	○2.5	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前	○*	+10~ /t ² 12.5 L	300 g/a	○	○	○	○	{28} {34}	
		東北	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前	○	+5~ /t ² 12.5 L	○	○	○	○		
		北陸	早	○2.5	○	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○始	○	○	○	○	○		
		関東 東山	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前	○		○	○	○	○		
		近畿 中国	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前	○		○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○始	○		○	○	○	○	○		
		四国	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前	○		○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○始	○		○	○	○	○	○		
		九州	早	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○再生前	○		○	○	○	○		
		普	○2.5	○	○	○	○	○			○発生期	○前	○始	○		○	○	○	○	○		

VII-2 34. CDS-941 7077 ¹⁰	処理法	地域名	作期	1 ¹ 2 ¹ 1	一年 広葉マツハイ	ホタルイ	クリカワ	ミズカヤフリ	ヘラオモダカ	クロダクイ	オモダカ	ヒルムシロ	藻類剥離	処理時期	使用量・製品	砂壌土	壤土	埴土	埴土	減深 cm/d	使用上の 注意
				●2.5	●	●2	●2		●2	●2		●発生期	●前	●再生前 始	+3~1 ¹ 2.5L	50 ml/a	●	●	●	●	2
	農業 業土壌 処理	北海道	早																		
		東北	早																		
		北陸	早																		
		関東 東山	早																		
		近畿 中国	早																		
			普																		
		四国	早																		
			普																		
		九州	早																		
			普																		

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-2 65. CDS-941D 7077	土壌処理	北海道												50 mL/a						{28}
		東北																		{34}
		北陸		●2.5	●	●2	●2	●2					+3~1/t±2.5L				●	●	1	水口処理可能 (北陸~近畿・ 中国・四国)
		関東 東山	早								発生 期	●再生 前								
		東海	普	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●始		●	●	●	●	2	
		近畿 中国	早								発生 期	●再生 前								
			普	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●始			●	●	●	1.5	
		四国	早								発生 期	●再生 前								
			普	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前	●始			●	●	●		
		九州	早								発生 期	●再生 前								
			普	●2.5	●	●2	●2	●2			●発生 期		●始				●	●	2	

VII-3-(1) 長期持続型一発処理剤

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 1. AC-014A	粒	北海道		○1.5	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	+0~1/t±1.5L	300 g/a		○	○	○	2	{28}
		東北		○1.5	○	○2	○2	○2	●2		○発生 期				●	○	○	○		田植同時散布可 能(東北、関東 ~東海)
		北陸		○1.5	○	○2	○2	○2	○2			●前				●	○	○		
		関東 東山	早	○1.5	○	○始	○始	○始			発生 期	○前	●再生 前		○	○	○	○		
		東海	普	○1.5	○	○始	○始	○始			○発生 期	○前				●	○	○		
		近畿 中国	早																	
			普																	
		四国	早																	
			普																	
		九州	早																	
			普																	

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 2. AC-014A	粒	北海道												300 g/a						{28}
		東北																		{34}
		北陸																		
		関東 東山	早																	
		東海	普																	
		近畿 中国	早								発生 期	●前		+0~1/t±1.5L		●	●	●	1.5	田植同時 散布可能 (近畿~九州)
			普	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 期	●前				●	●	●		
		四国	早								発生 期	●前				●	●	●		
			普	●1.5	●	●始	●始	●始			●発生 期	●前				●	●	●		
		九州	早								発生 期					●	●	●		
			普	●1.5	●	●2	●2	●2			●発生 期					●	●	●		

VII-3-(1) 3. AC-014A-1kg 粒 「続」

	処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミズ カ	ヘラ タ	クロ タ	オモ タ	ヒル シ	藻類 剥離	処理時期	使用 量 製品	砂 土	壤 土	堆 土	堆 土	減水 cm/d	使用上の 注意
VII-3-(1) 4. AC-014C -1kg 粒	土壌処理	北海道		○2	○	○2	○2	○2			○発生 期	○前	+5~1/t±2L	100 g/a	●1.5	○	○	○	2	{28}
		東北		○2	○	○2	○2	○2	○2		○発生 期	○前			●	○	○	○		{34}
		北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2			●前				●	○	○		
		関東 東山	早								発生 期	●前								
		東海	普	●2	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前					●	●		
		近畿 中国	早								発生 期	●前								
			普	●2	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前				●	●	●	1.5	
		四国	早				●2	●2	●2		●発生 期	●前					●	●		
			普	●2	●	●2	●2	●2			●発生 期	●前					●	●		
		九州	早	●2	○	○2	○始	○2			●発生 期	●前			●	●	●	●	2	
			普	○2	○	○2	○始	○2			●発生 期	●前			○	○	○	○		

Ⅶ-3-(2) 一年生持続型除草剤

処理法	地域名	作期	/t ² x	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カワ	ヘラモ ダ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-3-(2) 1. CH-902 -1kg 粒	北海道		○1.5	○	○2								+5~+11.5L	100 g/a		○	○	○	2	(18) (33)
	東北		○1.5	○	○2								+3~+11.5L	100 g/a		○	○	○		
	北陸		○1.5	○	○2											○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○1.5 ○1.5	○ ○	○2 ○2											○ ○	○ ○	○ ○	1 2	
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	/t ² x	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カワ	ヘラモ ダ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-3-(2) 2. CHG-948 -1kg 粒	北海道		●1	●	●始			●2					+5~+7 (/t ² x 1L)	100 g/a		●	●	●	2	(28) (34)
	東北		●1	●	●始			●2									●	●		
	北陸		●1	●	●始			●2									●	●		
	関東 東山 東海	早 普	●1 ●1.5	● ●	●始 ●始								+5~+11.5L			●	●	●	1 2	
	近畿 中国	早 普	●1.5 ●1.5	● ●	●始 ●始											●	●	●	1 1.5	
	四国	早 普	●1.5 ●1.5	● ●	●始 ●始											●	●	●	1 1.5	
	九州	早 普	●1.5 ●1.5	● ●	●始 ●始											●	●	●	1	
																●	●	●		

Ⅶ-1 少量散布法

処理法	地域名	作期	/t ² x	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カワ	ヘラモ ダ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-1 2. NC-311SCD -1kg 粒	北海道													100 g/a						(28) (34) (40)
	東北		●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期		+15~+20 (/t ² x 2.5L)			●	●	●	2	
	北陸																			
	関東 東山 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

Ⅶ-1 3. SL-498D-1kg 粒 「継」

処理法	地域名	作期	/t ² x	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカワ	ミス カワ	ヘラモ ダ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 塚土	塚 土	塚 土	塚 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-1 4. SL-498 -1kg 粒	北海道													100 g/a						(13) (34)
	東北		●2	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●前	+15~+20 (/t ² x 2L)		●	●	●	●	2	
	北陸		●2	●	●2	●2	●2				●発生期	●前					●	●	1	
	関東 東山 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

Ⅷ-2 少量散布

	処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉マツハ	ホタルイ	クリカ	ミヤ カ	ヘラ タ	クログ イ	オモダ イ	ヒルシ ロ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・製品	砂 壌土	壤 土	植 壌土	増 土	減水深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-2 1. CGM-71 7077 ^ル	土壌処理	北海道															30 ml/a						一発処理型除草剤の少量散布(30ml/a)が可能
		東北		● 1	●	● 始	●	●	●						+0~+5 (/t ⁺ ±1L)			● ●		1			
		北陸		● 1	●	● 始			●								● ●						
		関東山	早																				
		東海	普																				
		近畿中	早																				
		畿中	普																				
		四国	早																				
		普																					
		九州	早																				
		普																					

		処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミヤ カ	ハヤ モ	クログ	オモダ	ヒルシ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌 土	壤 土	植 壌 土	植 土	減 水 cm/d	使用上の 注意			
Ⅷ-2 2. TCG-128 乳	土 壌 処 理	北海道															植代時(〜4)	30 ml/a						一発処理型 除草剤の 少量散布 (30ml/a)が 可能			
		東北		●	●	●		●														●	●		1		
		北陸																									
		関東山	早																								
		東海	普	●	●	●		●															●		●		
		近畿中	早																								
		畿中	普	●	●	●		●														●	●		●	●	
		四国	早																								
			普	●	●	●		●															●		●	●	●
		九州	早																								
			普	●	●	●		●															●		●	●	●

		処理法	地域名	作期	ノビエ	一年 広葉 マツハ	ホタルイ	クリカ	ミヤ カ	ヘラオ タ	クロダ マ	オモダ マ	ヒルシ ロ	藻類 剥離			処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	植 土	植 土	減水 cm/d	使用上の 注意	
Ⅷ-2 3. TSR-121 7077 ^ル	土壌 処理	北海道	● 1	●	● 始												+0~+5 (/t ⁺ ±1L)	30 ml/a		●	● ●	2	一発処理型 除草剤の少量 散布(30ml/a) が可能 水口処理可能 (北海道)		
		東北	● 1	●	● 始														●	● ●	● ●				
		北陸	○ 1	○	○ 始														●	●	○ ○				
		関東山	早																						
		東海	普	● 1	●	● 始															●	● ●			
		近畿中	早																						
		普	● 1	●	● 始																●	● ●			
		四国	早																						
		普	● 1	●	● 始																	●		● ●	
		九州	早																						
		普	● 1	●	● 始																	●		● ●	1

平成7年度 水稻関係除草剤ジャンボ剤使用基準一覧表

Ⅱ-2 移植前後土壌処理

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツバ	ミズ ナリ	ヘラ タナ	クロ タナ	オモ タナ	ミズ ナリ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-2 1. KPP-2005	北海道	○1	○	○始		○始				移植後～4.10～+3 (/t ² 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (46)
	東北	○	○	○	○					移植後～4.10～+3 (/t ² 1L)	50g x23 /a	●	●	○	○		
	北陸	○	○	○	○					移植後～4.10～+3 (/t ² 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	●1 ○	● ○始	●始 ○始					移植後～4.10～+3 (/t ² 1L)	50g x23 /a			●	●	1 2	
	近畿 中国	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始					移植後～4.10～+3 (/t ² 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	
	四国	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始					移植後～4.10～+3 (/t ² 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○		
	九州	早 普	○1 ○	○始 ○始	○始 ○始					移植後～4.10～+3 (/t ² 1L)	50g x23 /a	○	○	○	○	1	

Ⅱ-3 移植後土壌処理

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツバ	ミズ ナリ	ヘラ タナ	クロ タナ	オモ タナ	ミズ ナリ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-3 1. AKD-7036	北海道								○始～盛	藻類・表層剥離 発生始～盛期	50g x23 /a	●	○	○	○	2	(45)
	東北								○始～盛	藻類・表層剥離 発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○		
	北陸								○始～盛	藻類・表層剥離 発生始～盛期	50g x23 /a		○	○	○	1	
	関東 東山 東海	早 普							○始～盛	藻類・表層剥離 発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	2	
	近畿 中国	早 普							○始～盛	藻類・表層剥離 発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	1	
	四国	早 普							○始～盛	藻類・表層剥離 発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○		
	九州	早 普							○始～盛	藻類・表層剥離 発生始～盛期	50g x23 /a	○	○	○	○	1.5	
									○始	藻類・表層剥離 発生始	50g x23 /a		○	○	○		

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツバ	ミズ ナリ	ヘラ タナ	クロ タナ	オモ タナ	ミズ ナリ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-3 2. CG-113	北海道										50g x23 /a						(45)
	東北	○始	○	○始						+3～+5	50g x23 /a		○	○	○	1.5	
	北陸	○始	○	○始	○						50g x23 /a			○	○		
	関東 東山 東海	早 普									50g x23 /a						
	近畿 中国	早 普									50g x23 /a						
	四国	早 普									50g x23 /a						
	九州	早 普									50g x23 /a						
											50g x23 /a						

Ⅱ-4 茎葉兼土壌処理

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツバ	ミズ ナリ	ヘラ タナ	クロ タナ	オモ タナ	ミズ ナリ	藻類 表層 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 壌土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 cm/d	使用上の 注意
Ⅱ-4 1. DEH-112	北海道	○4								/t ² 12.5L～4L	50g x23 /a	○	○	○	○	2	(45) (47)
	東北	○4								/t ² 12.5L～4L	50g x23 /a	●	●	○	○		
	北陸	○3.5								/t ² 12.5L～3.5L	50g x23 /a	○	○	○	○		
	関東 東山 東海	早 普	○3.5							/t ² 12.5L～4L	50g x23 /a			○	○	1	
	近畿 中国	早 普	●3.5							/t ² 12.5L～4L	50g x23 /a	●	●	●	●	2	
	四国	早 普	●3.5							/t ² 12.5L～4L	50g x23 /a	●	●	●	●		
	九州	早 普	●4							/t ² 12.5L～4L	50g x23 /a	●	●	●	●	1	
											50g x23 /a						

II-5 適用時期拡大

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホカハ・イ	ウリカ・イ	ミズ カ・イ フリ	ヘラオモ タ・イ	クロガ ワ・イ	オモタ カ・イ	ヒルシ ロ	藻類 腐 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
II-5 I. DEH-112	北海道	早	○4										+15~+35 (/t・x12.5L ~4L)	50g× 2-3 1/a	●	○	○	○	2	(45) (47)
	東北	早	○4											50g× 2-3 1/a	○	○	○	○		
	北陸	早	○4																	
	関東 東山 東海	早 普	●4 ○4										+20~+35 (/t・x12.5L ~4L)		○	○	○	●	1	
	近畿 中国	早 普	●4																2	
	四国	早 普	●4																	
	九州	早 普	●4																	

II-6-(1) クログワイ対象

	処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホカハ・イ	ウリカ・イ	ミズ カ・イ フリ	ヘラオモ タ・イ	クロガ ワ・イ	オモタ カ・イ	ヒルシ ロ	藻類 腐 離		処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意		
Ⅱ-6-(1) I. JC-940	土壌処理	北海道														50g ×2 1/a						(40) (42) (45) (47)		
		東北									○始				ス・イ ○始	+2～ クロガワ発生始				○	○		1.5	
		北陸																						
		関東 東山 東海	早 普								●前					+2～ クロガワ発生前					●		●	1
		近畿 中国	早 普								○始					+2～ クロガワ発生始								
		四国	早 普								○始								○	○	○		1	
		九州	早 普								○始								○	○	○			
																			○	○	○			

クロガワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上する。(関東~四国)

VII 一発処理剤

VII 1. NCG-370 「継」

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ネタハ・イ	ウリカ・イ	ミズ カ・イ フリ	ヘラオモ タ・イ	クロガ ワ・イ	オモタ カ・イ	ヒルムシ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII 2. SW-951	北海道	早	●1.5	●	●始	●始		●始			●	●前 再生 前	+5~+11.5L	50gx 1.5/a				●	2	{ 45 47
	東北	早	●1	●	●始	●始	●始	●始			●	●前 再生 前	+3~+11L				●	1.5		
	北陸	早																		
	関東 東山 東海	早 普																		
	近畿 中国	早 普																		
	四国	早 普																		
	九州	早 普																		

処理法	地域名	作期	ハ・エ	一年 広葉 マツハ・イ	ホカハ・イ	ウリカ・イ	ミズ カ・イ フリ	ヘラオモ タ・イ	クロガ ワ・イ	オモタ カ・イ	ヒルシ ロ	藻類 腐 離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
VII 3. SW-951①	北海道													50g× 1.5 1/a						
	東北																			
	北陸	早	●1.5	●	●始	●始	●始					●	+3~+11.5L				●	●	1	(45) (47)
	関東 東山 東海	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始										●	●	2	
	近畿 中国	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始				●	●前 再生 前					●	●		
	四国	早 普	●1.5	●	●始	●始	●始				●	●前 再生 前					●	●		
	九州	早 普	●1	●	●始	●始	●始				●	●前 再生 前	+3~+5 (/t・x11L)				●	●	1.5	

VII 4. SW-952 「継」

VII 5. SW-952① 「継」

Ⅶ-3-(1) 長期持続型一発処理剤

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カ ワ	ヘラ タ カ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-3-(1) 1. AC-140	北海道		●	●2	●2		●2		●前	+5~ /t ² ×2L相当 (+15)	50g× 23/a		●	●	2	{45} {47}
	東北		●	●2	●2								●	●	1	
	北陸		●	●2	●2	●2						●	●	●	2	
	関東 東海	早 普	●	●2	●2	●2			発生期	+5~ /t ² ×2L相当 (+10)				●	1	
	近畿 中国	早 普	●	●2	●2	●2			発生期			●	●	●		
	四国	早 普	●	●2	●2	●2			発生期			●	●	●		
	九州	早 普	●	●2	●2	●2			発生期					●	●	

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カ ワ	ヘラ タ カ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-3-(1) 2. AC-014C	北海道		●2	●	●2	●2	●2		発生期	+5~/t ² ×2L	50g× 23/a		●	●	2	{45} {47}
	東北		●2	●	●2	●2	●2		発生期				●	●	1	
	北陸		●2	●	●2	●2	●2		●前			●	●	●	2	
	関東 東海	早 普	●2	●	●始	●始	●始						●	●	1.5	
	近畿 中国	早 普	●2	●	●2	●2	●2		●前			●	●	●	1	
	四国	早 普	●2	●	●2	●2	●2		●前			●	●	●		
	九州	早 普	●2	●	●2	●2	●2							●	●	

Ⅶ-3-(2) 一年生持続型除草剤

処理法	地域名	作期	1年 広葉 マツハ	ミズ カ ワ	ヘラ タ カ	クロ ワ	オモ カ	ヒル シ ロ	藻類 剥離	処理時期	使用 量・ 製品	砂 土	壤 土	埴 土	減水 深 cm/d	使用上の 注意
Ⅶ-3-(2) 1. AC-140D	北海道		●	●2						+5~ /t ² ×2L相当 (+15)	50g× 23/a		●	●	2	{45} {47}
	東北		●	●2									●	●	1	
	北陸		●	●2								●	●	●	2	
	関東 東海	早 普	●	●2						+5~ /t ² ×2L相当 (+10)				●	1	
	近畿 中国	早 普	●	●2								●	●	●	1.5	
	四国	早 普	●	●2								●	●	●		
	九州	早 普	●	●2										●	●	

水稻関係除草剤使用基準一覧表の表示について

- 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。〔例：○前(発生前)、○2(2葉期まで)〕
Ⅳ及びⅤの項目の地域名の○は、前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。
使用上の注意は別途一覧表の番号で記し、一覧表にない注意事項の場合は*を付し、欄外に字句を記載した。
- 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期および使用量を記載した。
- 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合
作期の拡大：拡大可能となった作期の適用草種・土壌に●を印した。
草種の拡大：拡大可能となった草種に●を印した。
葉齢の拡大：拡大可能となった葉齢に、アンダーラインを付した。(例：○2.5)
処理時期、使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。(例：±3~/t²×2L, 50~75ml/a)
土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。
- 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定のみ記載した。

使用上の注意一覧表

- (1) 低気温及び低水温は薬害の危険性があるので使用はさける。
- (2) 処理後2日以内に低温や降雨が予想される場合は使用をさける。
- (3) ごく浅植えの場合、薬害のおそれがあるので注意する。
- (4) 移植後の深水はさける。
- (5) 深水での処理はさける。
- (6) 散布は水稻になるべくかからないようにする。
- (7) 著しい高温条件下の時は、砂壌土ではクロロシスの発生が著しいので注意する。
- (8) トリアジン系除草剤の使用上の注意を守る。
- (9) MCP混合剤の注意事項を守る。
- (10) 処理後の灌水は48～72時間経過後に行う。
- (11) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は使用をさしひかえる。
- (12) 落水もしくは浅水で使用する。
- (13) ミズガヤツリの多い水田では早めに散布する。
- (14) ミズガヤツリに対し遅い処理では、400g/aを処理する。
- (15) ホタルイ、ミズガヤツリ優先圃場では、400g/aで処理する。
- (16) ホタルイ多発田では早めに使用する。
- (17) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
- (18) コナギ多発田では早めに処理する。
- (19) 一年生広葉雑草多発田では400g/aとし、特にヒメミソハギが多発する水田での使用はさける。
- (20) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (21) 前処理剤との組み合わせで使用する。
- (22) 希釈水量は出来るだけ少なく茎葉に付着するように散布する。
- (23) ノリ面散布は避ける。
- (24) 流入、飛散等による水稻への薬害に注意する。
- (25) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
- (26) 植付精度不良で根が露出する水田では使用しない。
- (27) ホタルイ多発田では、ホタルイに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (28) 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- (29) コウキヤガラに有効な中・後期剤との組み合わせで使用する。
- (30) 水稻が水面に抽出してから使用する。
- (31) 短小苗、深水条件での使用はさける。
- (32) クログワイ防除はクログワイに有効な後期剤との組み合わせで使用する。
- (33) 広葉多発田での使用はさける。
- (34) 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用する。
- (35) マツバイ多発田での使用はさける。
- (36) コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (37) クログワイ防除の場合、同一成分含有薬剤を初期剤として使用しないこと。
- (38) オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (39) ミズガヤツリ防除は、ミズガヤツリに有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
- (40) シズイ防除は、シズイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (41) 散布後24時間以内から1日50mm以上の降雨が連続することが予想される場合は使用を差し控える。
- (42) クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (43) エゾノサヤヌカグサ防除は、エゾノサヤヌカグサに有効な剤との組み合わせで使用する。
- (44) クサネムが残草または後発生した場合は有効な後期剤を散布する。
- (45) 水深5～6cmの湛水条件で投入する。
- (46) 移植前処理は田面水が澄んでから投入する。
- (47) 藻類または表層剥離の発生しやすい水田では有効な剤との体系で使用する。